

令和4年度 鳥取県立ハローワーク
更生保護に係る就労支援オンラインセミナー

『農の福祉力』を生かした刑務所
出所者等の自立更生を目指して
～知ろう、農福連携 広めよう、支援の輪～



若者仕事ぷらざ

国・県が連携し、若者のための就業支援施設として「若者仕事ぷらざ」を県内3カ所に設置。

(平成16年4月～)



ミドル・シニア・レディース仕事ぷらざ

女性、ミドル、シニアのための就業支援施設として「ミドル・シニア・レディース仕事ぷらざ」を県が県内3カ所に設置。

(平成23年4月～)



技術人材バンク

技術的・専門的職業への就職を希望する方と求人企業のマッチングを支援する技術人材バンクを県が運営。

(平成25年7月～)

3つの機能を集約



とっとり求人・求職マッチング

鳥取県立 ハローワーク

Tottori Prefectural Hellowork

総合的な地方版ハローワークとして

鳥取

倉吉

米子

境港

東京

関西(大阪)

に開設。(平成29年7月～)

地域の課題解決に向けた5つのテーマに取り組む

女性活躍

若者

ミドル・シニア

IJUターン就職

企業サポート

農福連携

農の福祉力



農福連携とは？

農福連携とは、福祉分野と農業分野をひとつにする取組のことを言います。たとえば障がい者や高齢者など福祉に関わる人たちが、農業をしたり、農業に関わる仕事をしたりすることで農業分野での労働力の確保と、福祉分野での障害者の就労先の確保や社会参加の創出を目的とした取組です。

農の福祉力とは？

「農の福祉力とは、農業の『つくること』
『食べること』 『その場にいること』などにより、
『癒し』 『健康づくり』等の福祉の効果
を発揮する作用である。これは農産物や農
地だけが有する力ではなく、地域全体がこ
うした力を持つことになる。

また、単に農産物を供給する産業や地域と
いうことだけでなく、新たな産業そして新
たな地域の価値を生み出す力」

農福連携とは？

農福連携とは、福祉分野と農業分野をひとつにする取組のことを言います。たとえば障がい者や高齢者など福祉に関わる人たちが、農業をしたり、農業に関わる仕事をしたりすることで農業分野での労働力の確保と、福祉分野での障害者の就労先の確保や社会参加の創出を目的とした取組です。

農の福祉力とは？

働きづらさや生きづらさをかかえる刑務所出所者等が農業を通して、生きがいや自立を育み、地域共生社会の一員として社会復帰するとともに、犯罪のない安全、安心な社会づくりに寄与する力。（農業を通しての更生保護）

農福連携の取組パターン

① 連携型

農作業に関する請負契約

農業者



障害福祉サービス事業所

※特例子会社がある場合もある

(ほ場への
施設外就労)



利用者
(障害者)



職業
指導員

農業者と外部の障害福祉サービス事業所が、農作業に関する請負契約を締結するパターン。

② 福祉完結型

障害福祉サービス事業所



利用者
(障害者)



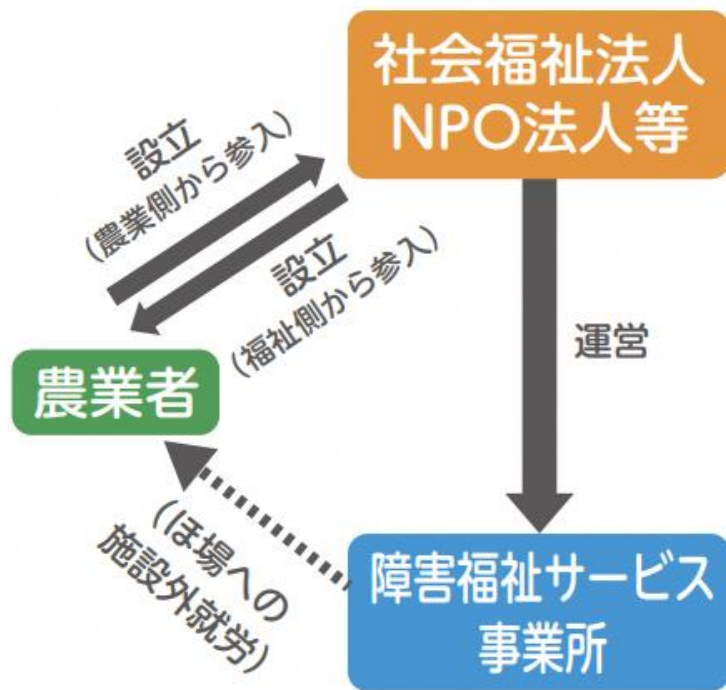
職業指導員

ほ場

障害福祉サービス事業所が単独で農業を行うパターン。

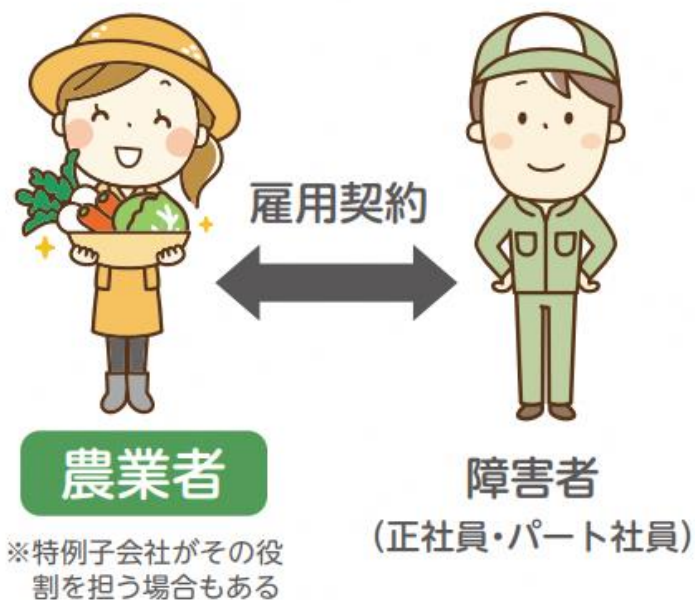
農福連携の取組パターン

③ グループ内連携型



農業者が社会福祉法人・NPO法人等を設立したり、社会福祉法人やNPO法人等が農業法人を設立するパターン。

④ 直接就労型

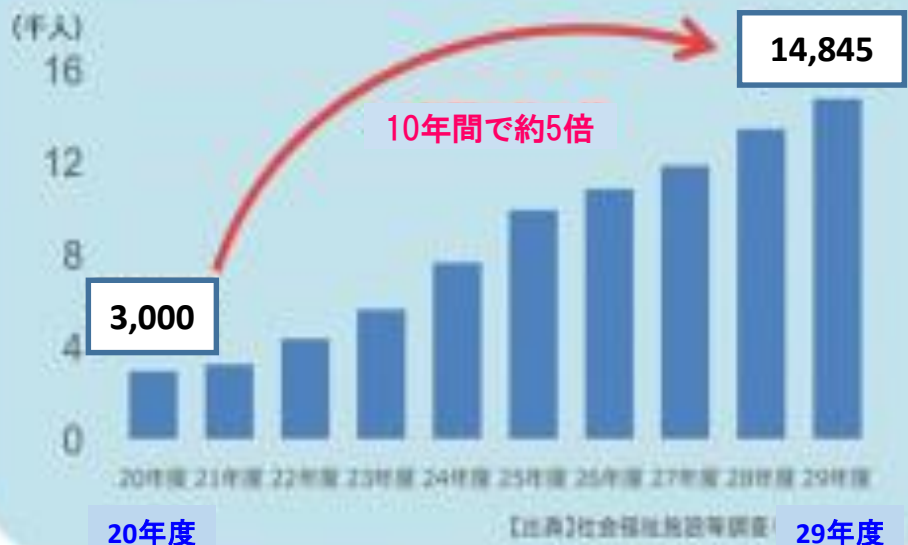


農業者が、障害者を正社員やパート社員として直接雇用するパターン。

「農福連携の高い効果と障がい者の働く意欲の高まり」

障がい者の働く意欲の高まり

福祉から一般就労への移行者数



【出典】社会福祉施設等調査(厚生労働省)

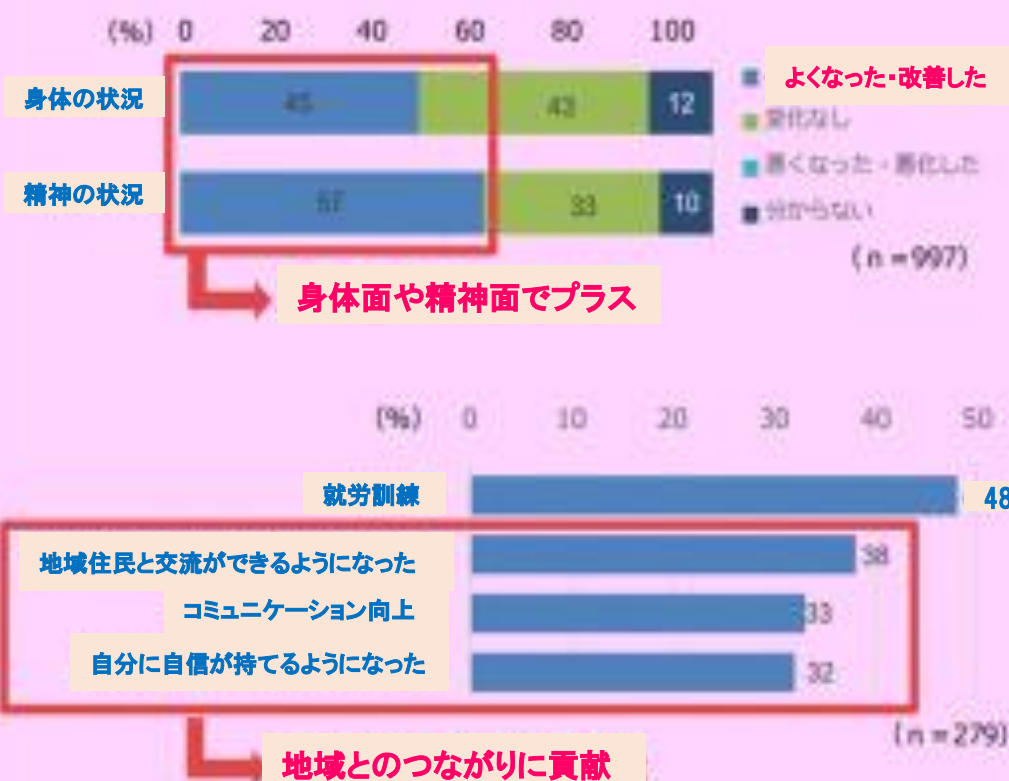
民間企業における障がい者の雇用者数



【出典】障がい者雇用状況(厚生労働省)

農福連携の高い効果

障がい者にとっての農業活動の効果



【出典】農と福祉の連携についての調査研究報告(平成26年3月特定非営利活動法人日本セルフセンター)

労働力不足の解消
農地の維持・拡大
荒廃農地の防止
社会貢献
地域活性化



農
農家



障がい者の雇用の場の確保
賃金（工賃）向上
生きがい、リハビリ効果
一般就労のための訓練等
社会コミュニティーへの参加機会



福
障がい者

農福連携等推進ビジョン等（概要）

Ⅲ 農福連携の広がりの推進

「農」と「福」のそれぞれの広がりを推進し、農福連携等を地域づくりのキーワードに据え、地域共生社会の実現へ

1 「農」の広がりへの支援

林業及び水産業において、特殊な環境での作業もあることにも留意しつつ、障害特性等に応じた、マッチング、研修の促進、経営発展を目指す取組の推進、林・水産業等向け**障害者就労のモデル事業**の創設

2 「福」の広がりへの支援

高齢者、生活困窮者、ひきこもりの状態にある者等の働きづらさや生きづらさを感じている者の就労・社会参画の機会の確保

や、

犯罪や非行をした者の立ち直りに向けた取組の推進

農福連携等推進ビジョン抜粋（令和元年6月農福連携等推進会議決定）

再犯防止推進計画加速化プラン

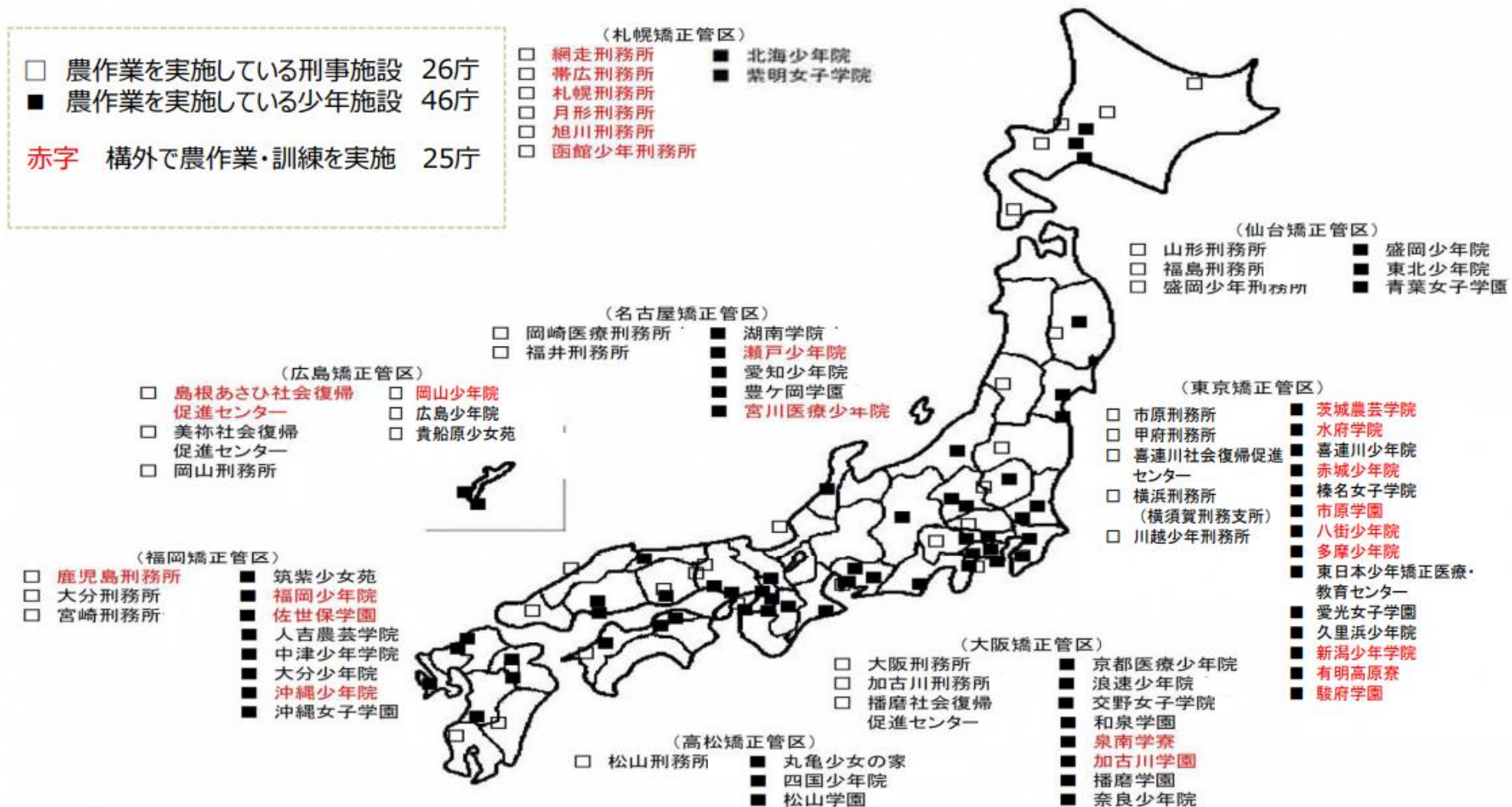
3 民間協力者の活動の促進

(2) 具体的な取組

イ 更生保護就労支援事業や身元保証制度、刑務所出所者等就労奨励金等を活用した協力雇用主への継続的支援の強化や、**犯罪をした者等を受け入れる農福連携等による立ち直りの取組を推進するとともに**、刑務所出所者等が地域社会に定着できるまでの間の最も身近かつ有効な支援者である更生保護施設の体制整備を図り、更生保護施設の地域拠点機能を強化する。

【法務省・農林水産省・厚生労働省】

全国72の矯正施設（刑務所・少年院）で 農業に関する刑務作業や職業訓練を実施



矯正施設では農業に関連する 作業や職業訓練（指導）を実施

刑事施設で

延べ672名が従事

(令和3年3月末日現在)



少年院で

延べ約342名が従事

(令和3年)



刑務所を出所した人を雇うという

2019年度スタート

社会貢献

北海道東部所在刑事施設における

農業モデル



北海道東部所在刑事施設における農業を活用した段階的開放処遇モデル



写真：法務省矯正局

出所後、農業即戦力に

帯広刑務所が支援事業

帯広刑務所(川村楡樹所長)は今年度から、受刑者を就農にこなけて再犯を防ぐ全国初の取り組みを始めた。「塀のない農場」で段階的に作業を経験させ、出所後に生産現場で活躍できる「即戦力」を育てる。

帯広刑務所は、執行刑期10年未満の再犯者を主に收容するB級刑務所。敷地内には本所農場(約3・5畝)と、敷地外でフェンスのない別府農場(約6・9畝)がある。

受刑者の就業促進の取り組みは、東京、札幌、釧路

管内の受刑者が対象。一般の刑務作業で素行や農作業への順応力を見極め、本所農場で作業させる。

面談などで就業意欲が高く、逃走の危険性がないと判断すれば、敷地外の別府農場や網走、旭川両刑務所の農場に移す。その間、ト

ラクターなどの大型特殊免許の取得も支援する。

帯広刑務所では受刑者293人のうち、1期生の4人が1日から本所農場で作業を始めている。服役中に農業法人などと面接し、内定を得て出所後の就労を目指す。現行では出所者を受け入れる農業法人は見つかっていない。帯広刑務所では「今後(事業者と)丁寧

《実際に出所者を雇用した事業者の声》
Q 出所者を雇用するに至ったきっかけを教えてください。

A ハローワーク帯広の職員から、受刑者の就労支援に係る連絡を受けたことがきっかけとなりました。出所者を雇用することに特段の抵抗はなく、ただ単に間違いをしまったり、周囲からの誘いを受けて、過ちを犯してしまったりする者もいると思いますし、それだけの違いしかない「同じ人間」だと思っています。

Q 今後の雇用についての意向を教えてください。

A 雇用して特に困ったことはないため、今後も雇用していきたいと考えています。また、仕事以外でも、会社の仲間と話をさせるようにしたり、行事に参加させたりして、出所者を一人にさせないようサポートしていきたいです。今は、「仕事中心の生活を長く続けられれば、悪いことに手を染めないのではなにかい。」と考えています。

農業者の悩み

出所者を雇っているとわかったら周りから何を言われるかわからない。

やっぱり怖い!!

事前に犯罪名を教えてくださいられないのか？

農業という仕事は厳しい。来てもすぐ辞めていく。本当に農業がしたいのだろうか？

どう接したらいいのかわからない。

問題を起こされたらどうしよう？

一年中通した仕事がない。常用雇用は無理だ。



「刑を終えた人」と聞いてどのようなイメージを持ちますか？

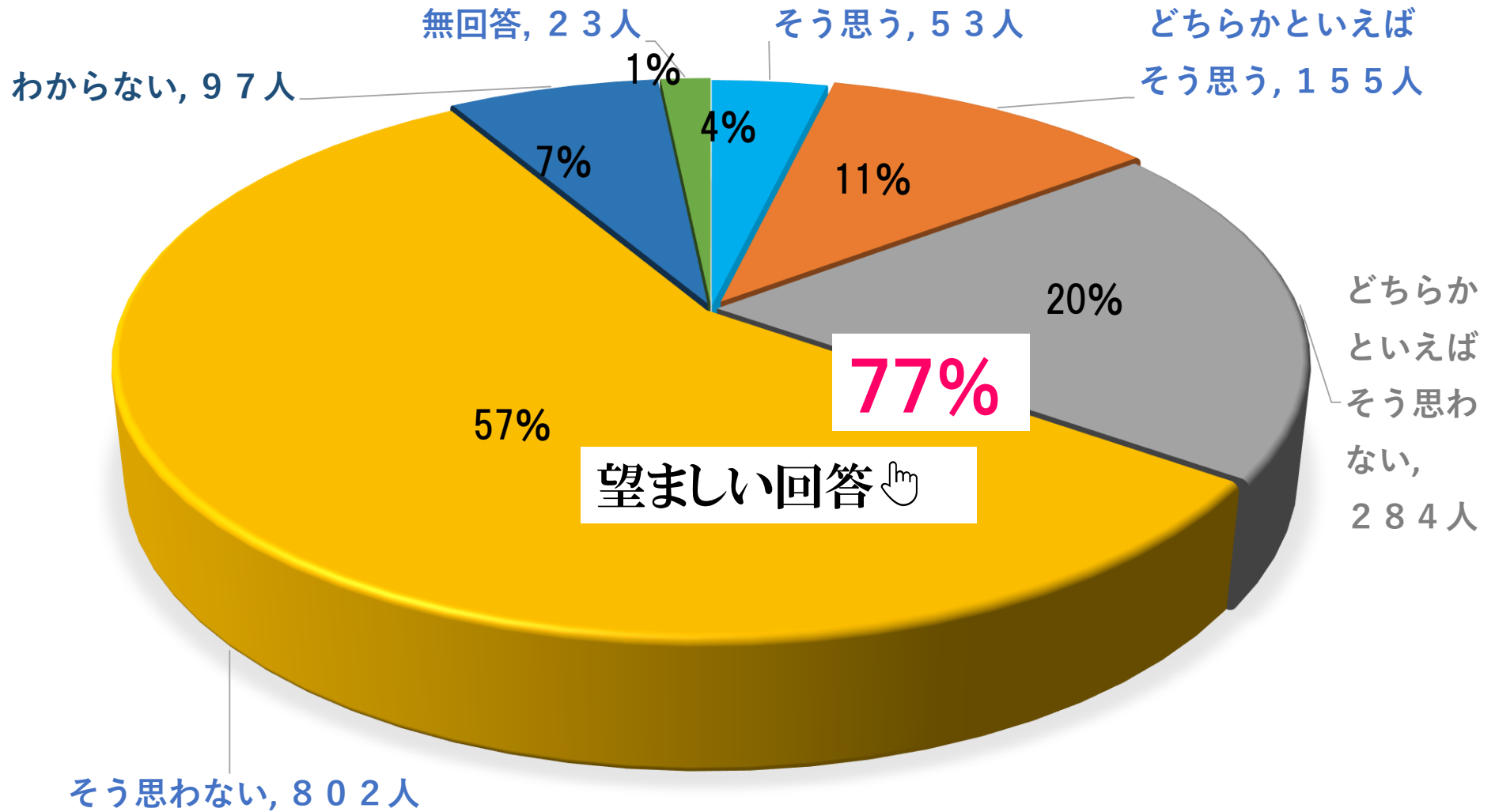
「怖そうな人」 「乱暴な人」 「凶悪犯」
「何を考えているかわからない人」

出所者＝暴力的

「地域に住んでほしくない人」
「身の回りにいてほしくない人」
「遠い存在」「一生出会わない人」

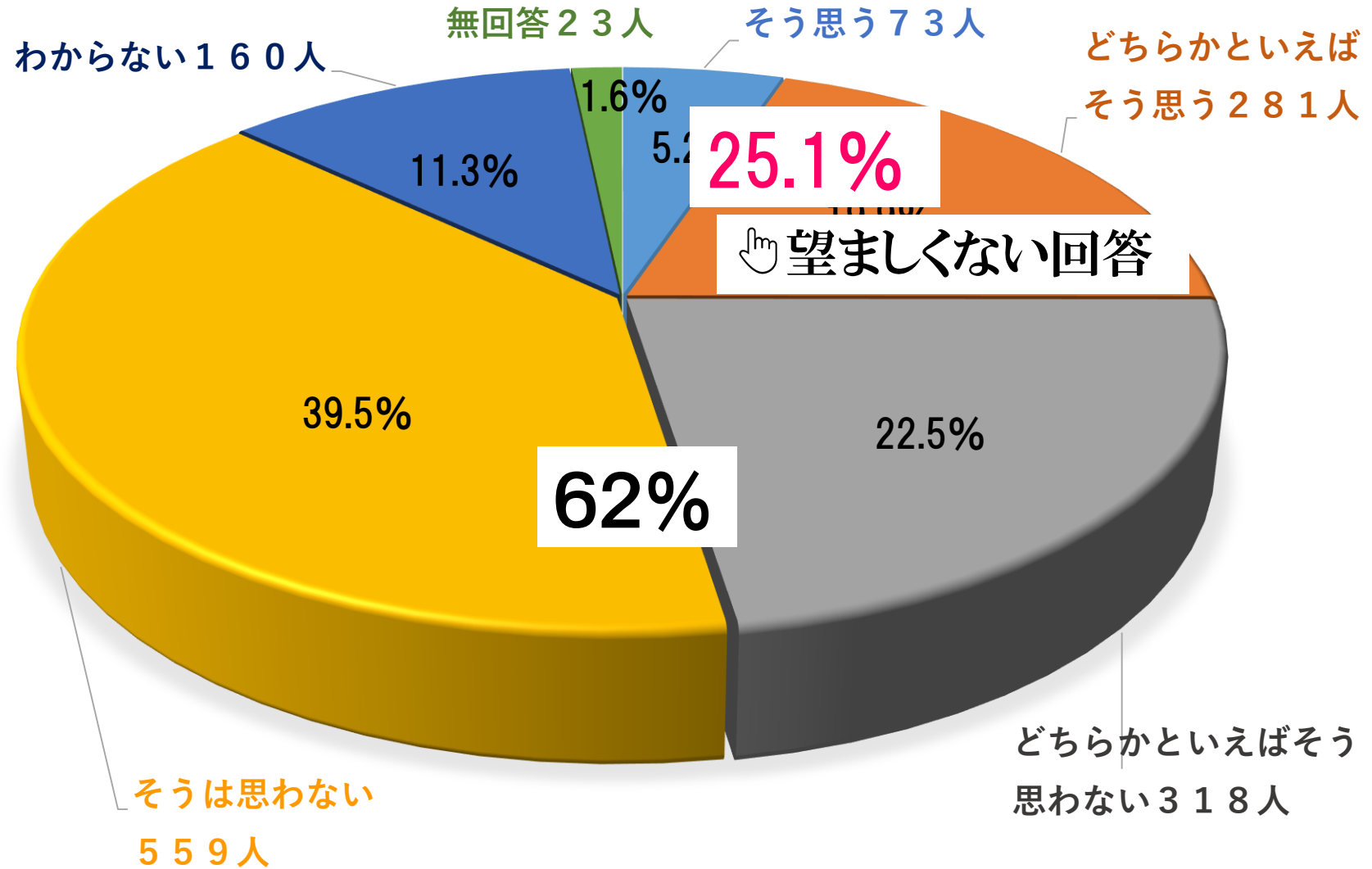
出所者＝別世界の人

人権全般;さまざまな人権課題が話題になるが、自分には関係ないことだ

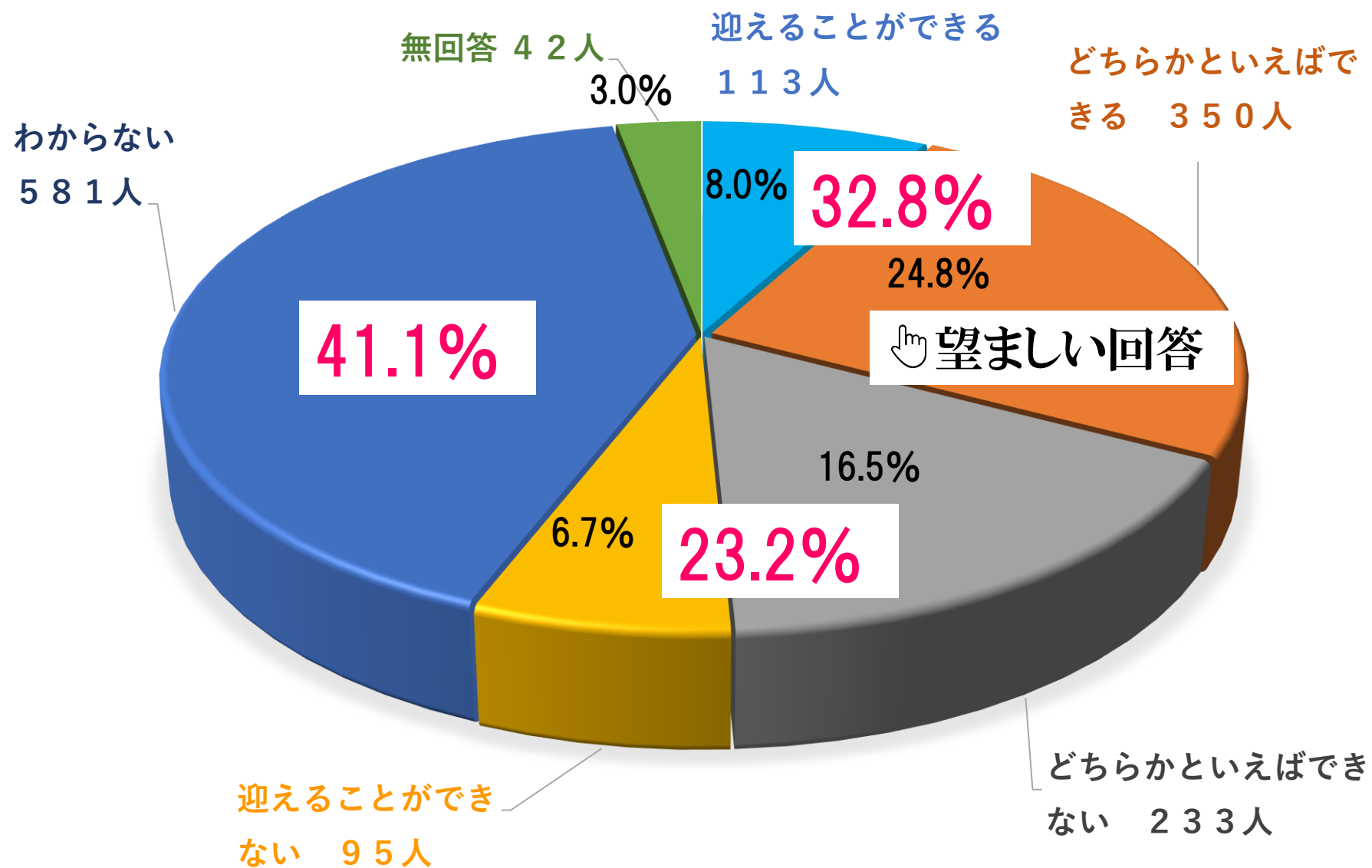


鳥取県人権意識調査結果報告書を基に作成
(令和2年5月調査) 有効回答数 1,414名

人権全般;差別される人にも、それだけの理由がある



近所に刑を終えて出所した人がいたとき、地域の仲間として迎えることができる



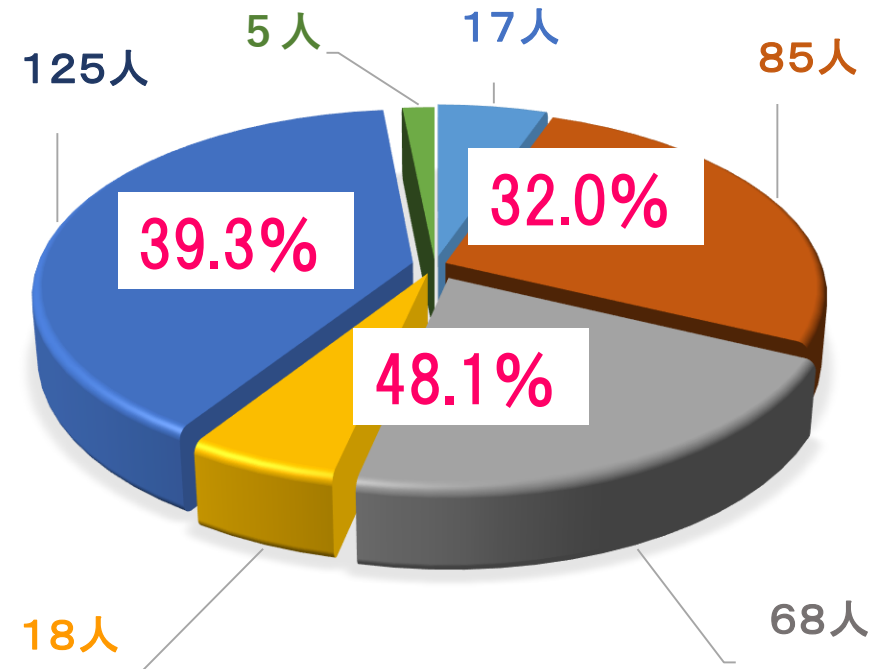
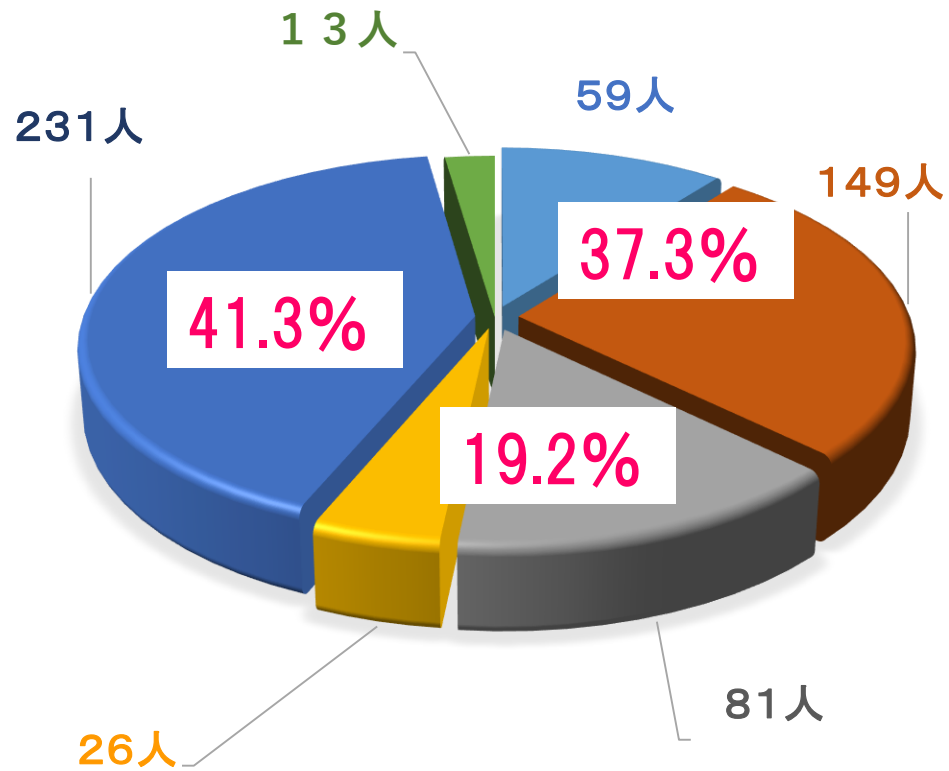
クロス集計 「人権全般：差別される人にも、それだけの理由がある」

「近所に刑を終えて出所した人がいたとき、地域の仲間として迎えることができる」

差別される人に理由はないと思う 559人

望ましい回答

どちらかといえば差別される人に理由はないと思う 318人



- 迎えることができる
- どちらかといえばできない
- わからない
- どちらかといえばできる
- 迎えることができない
- 無回答

刑余者に対する偏見にとらわれていませんか？

「以前に罪を犯しているのできっとまた罪を犯すはずだ」

「一度罪を犯したら更生なんて無理なんだ」

「仕事を得られないのは自業自得だ」

「出所者に仕事を与えれば、何か問題が起きるのではないか」

「刑務所に服役するほどの悪行をしたのだから、社会と一定の距離を置かれるのは仕方がない」

犯罪の動向

刑法犯認知件数

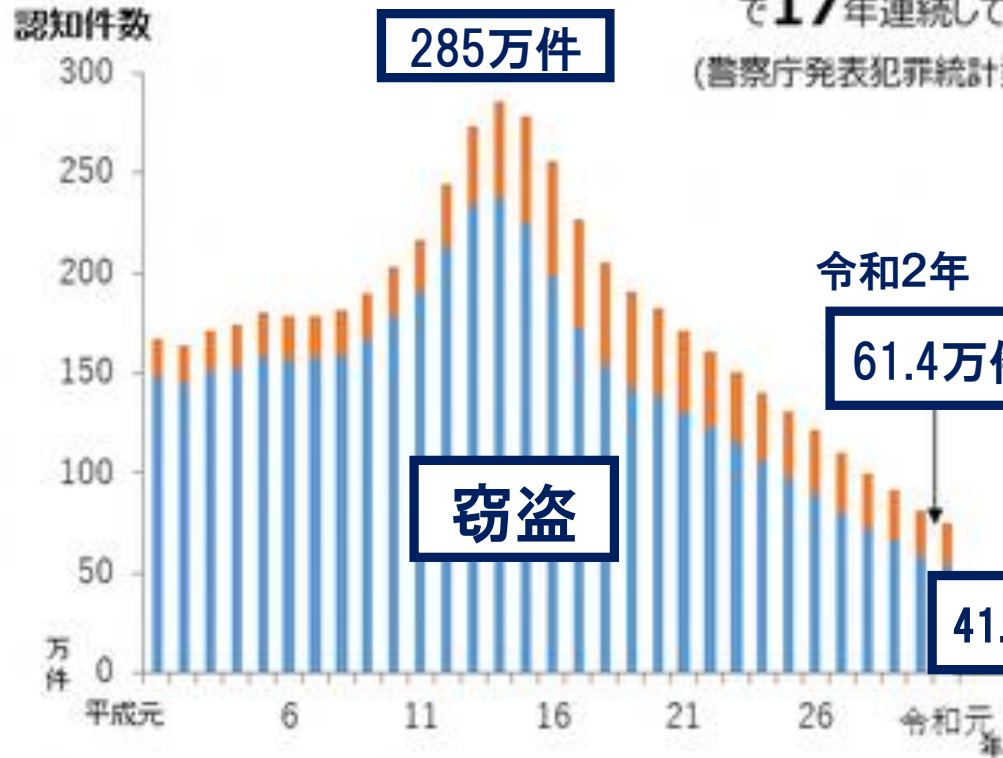
令和元年の刑法犯認知件数は

74万9千件

平成14年

285万件

で17年連続して減少
(警察庁発表犯罪統計資料)

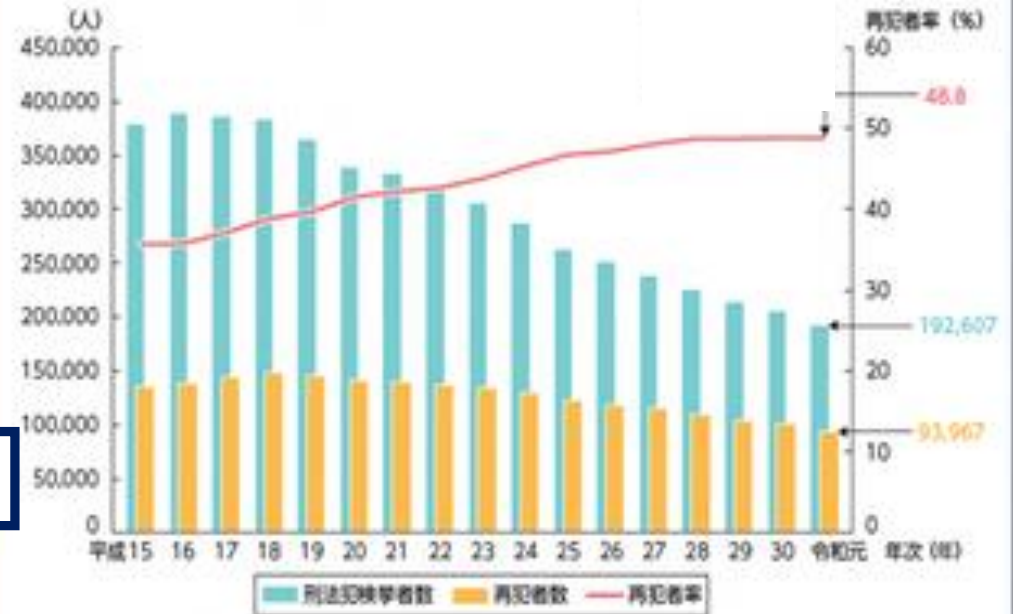


刑法犯検挙人員に占める再犯者率

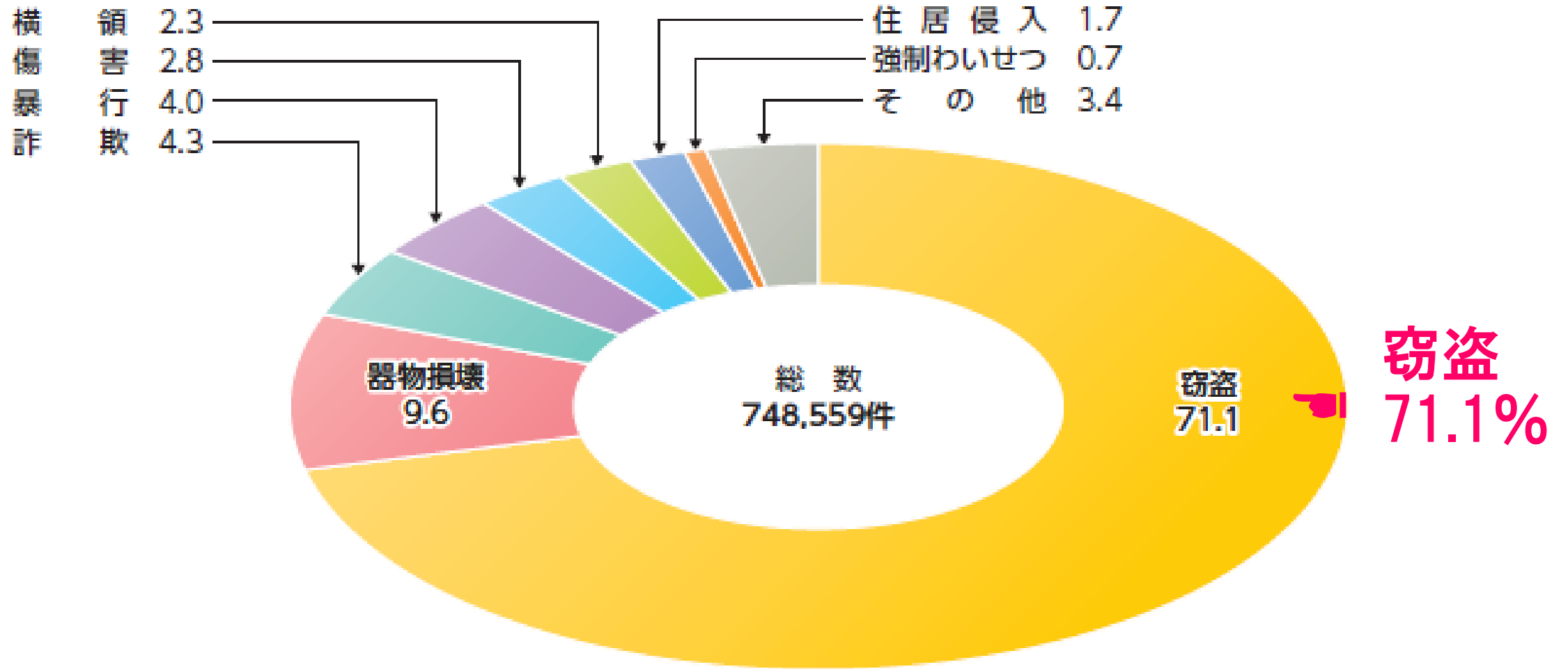
刑法犯検挙人員の

が再犯者

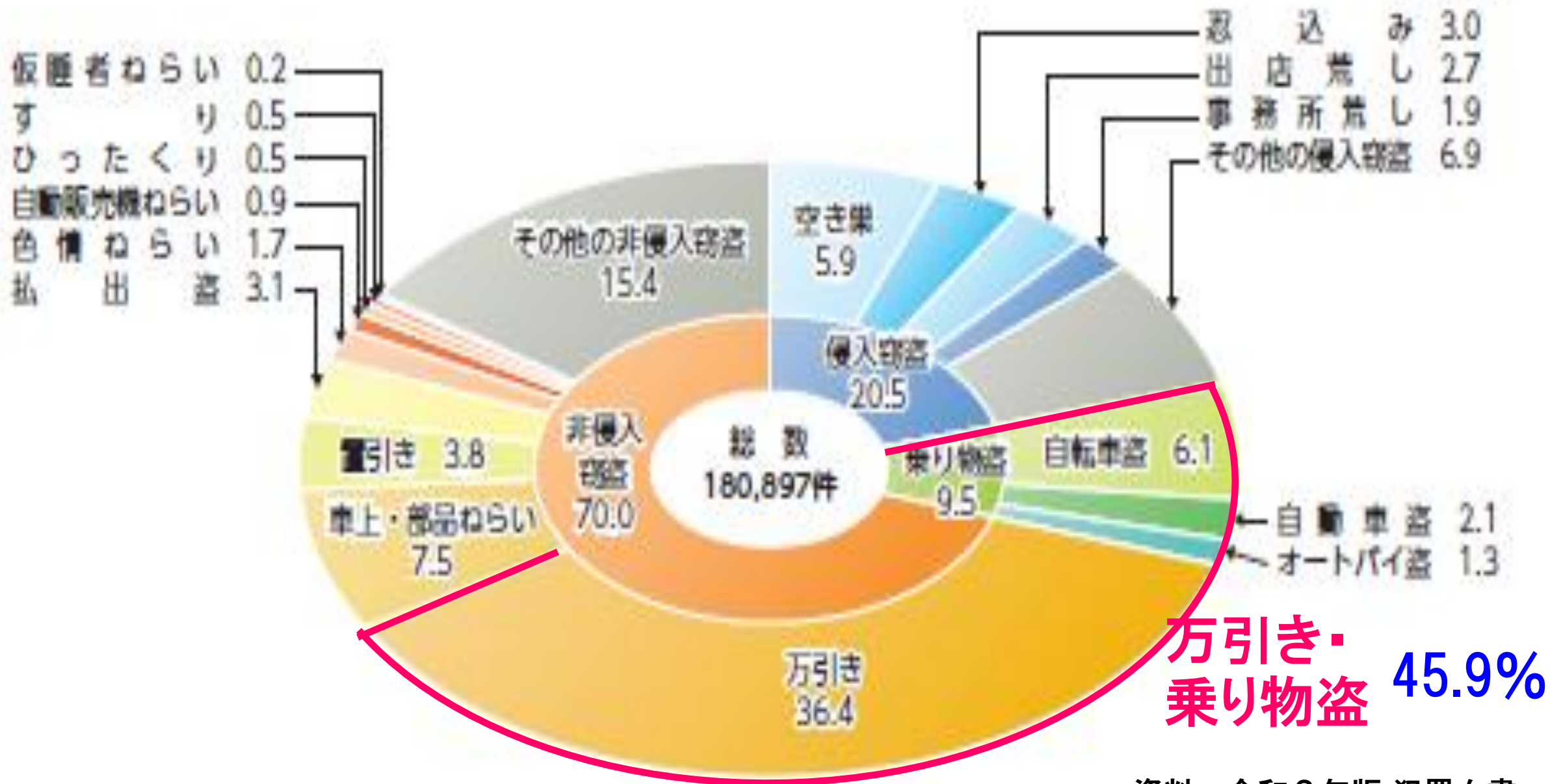
(警察庁発表犯罪統計書「令和元年の犯罪」)



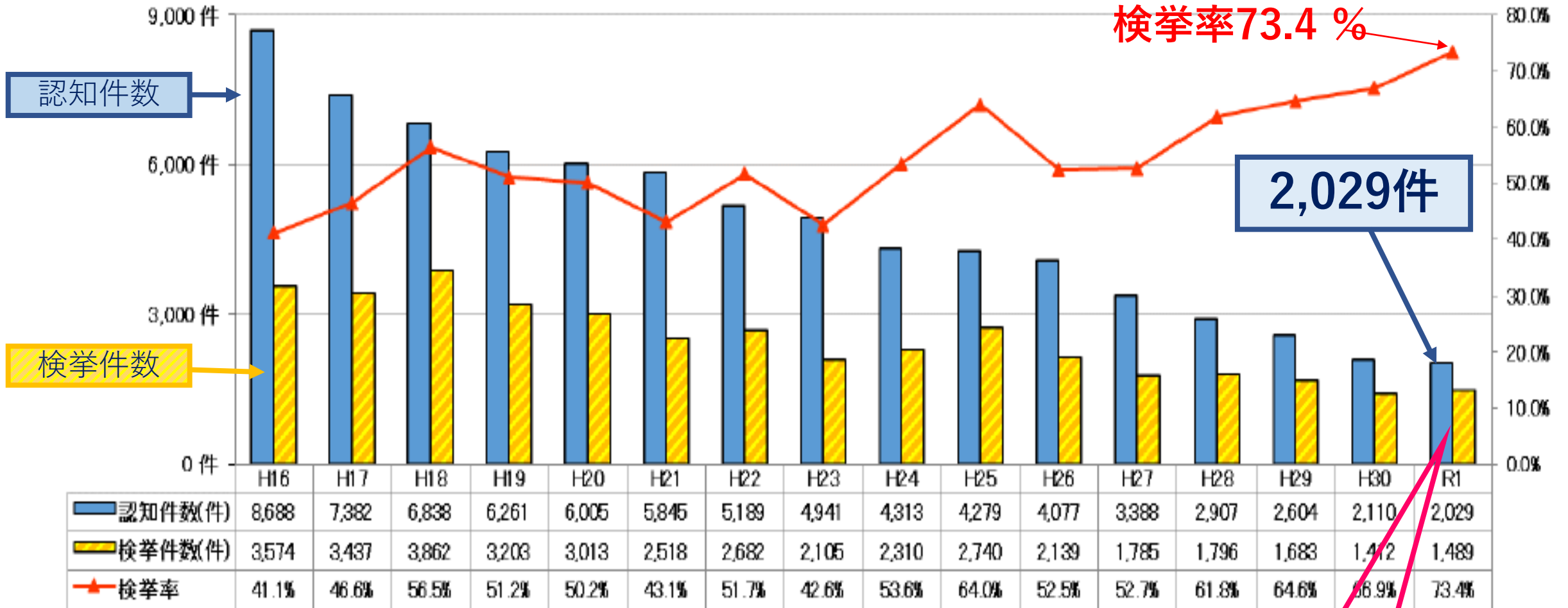
刑法犯 認知件数の罪名別構成比



窃盗の認知件数の手口別構成比



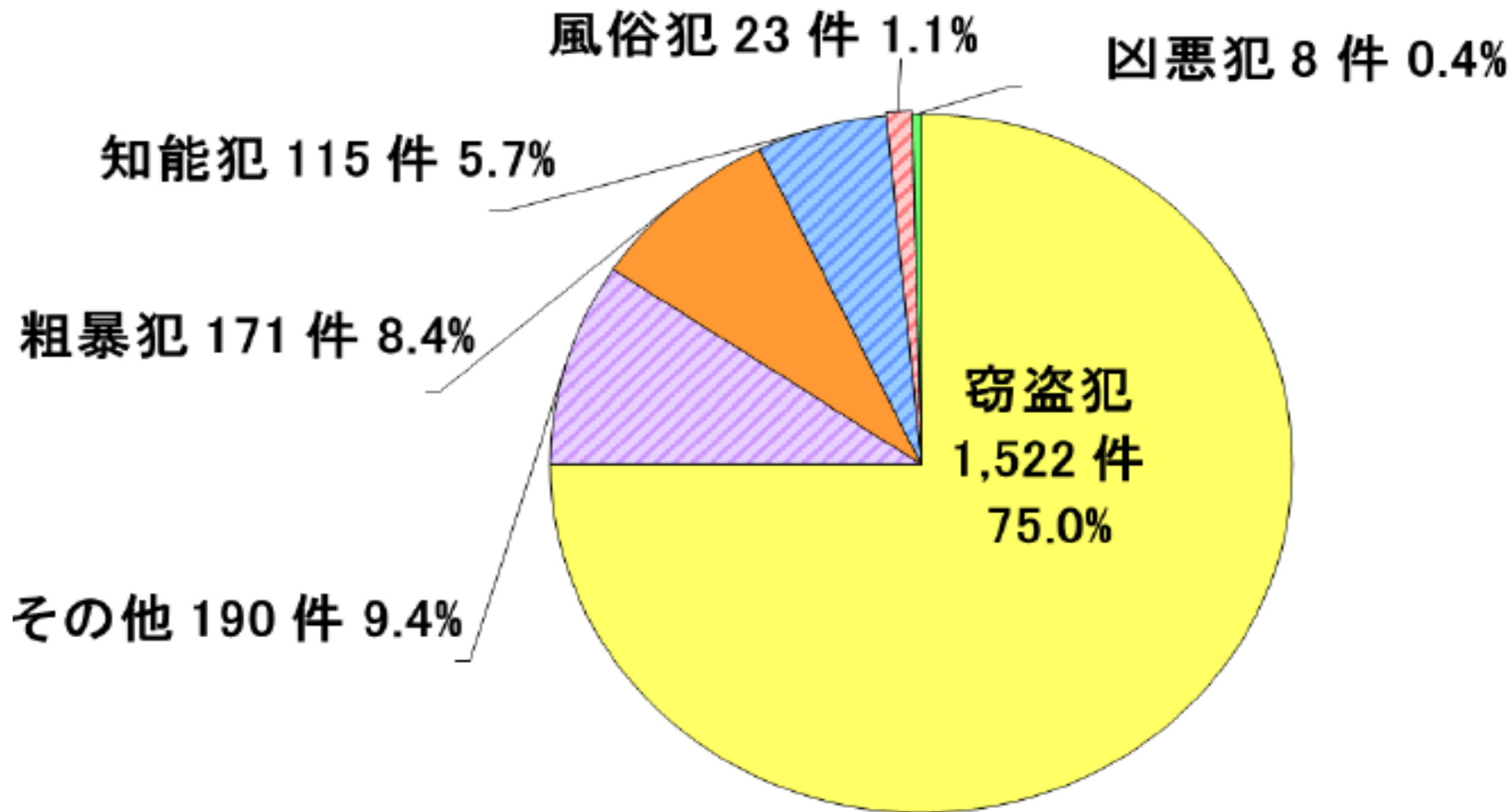
鳥取県内の刑法犯の認知件数、検挙件数、検挙率の推移 (平成16年～令和元年)



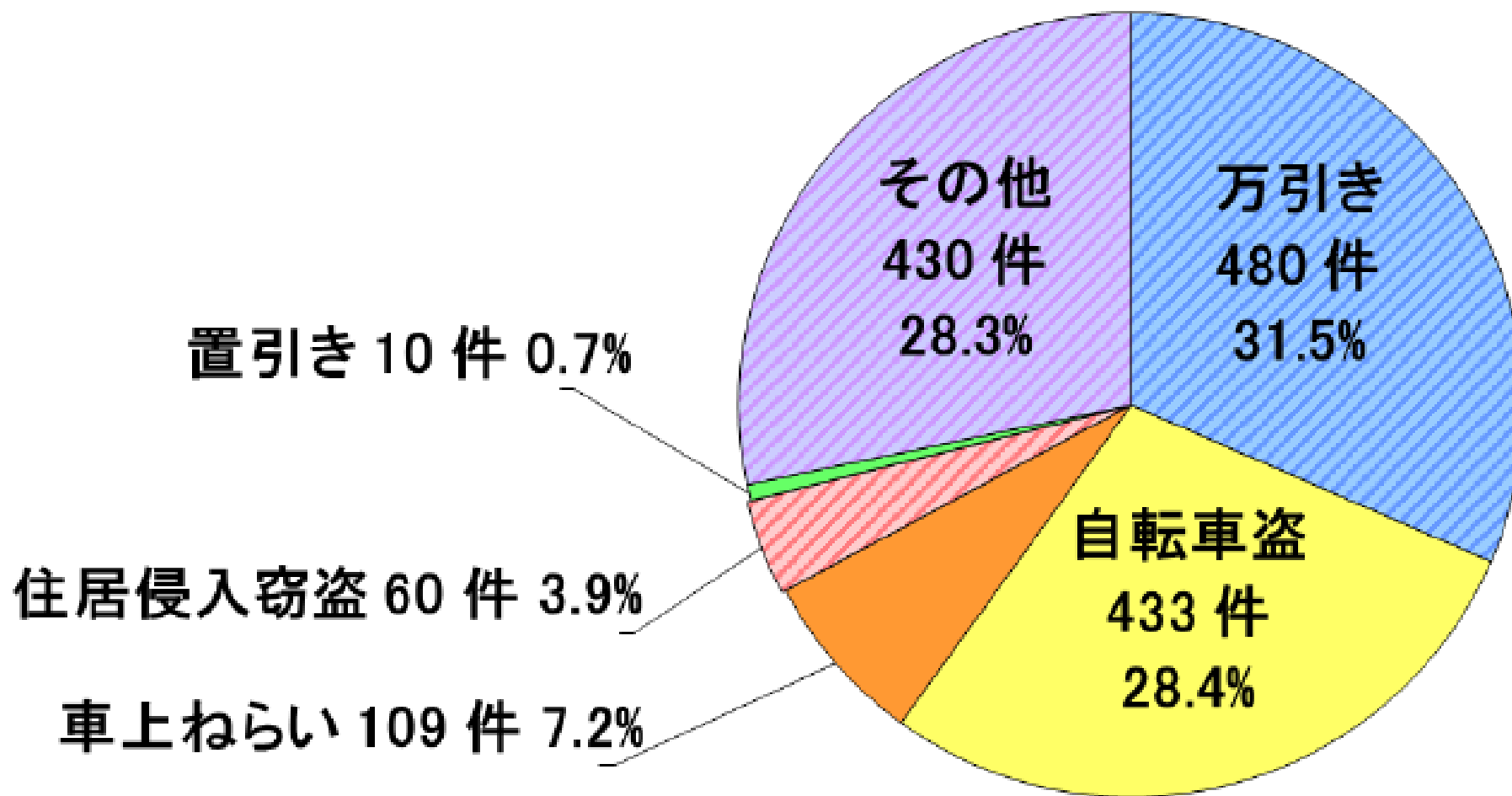
県の目標数値

3,000件

鳥取県内の犯罪別の発生状況(令和元年)



鳥取県内の窃盗犯の手口発生状況(令和元年)



再犯の現状

刑法犯認知件数

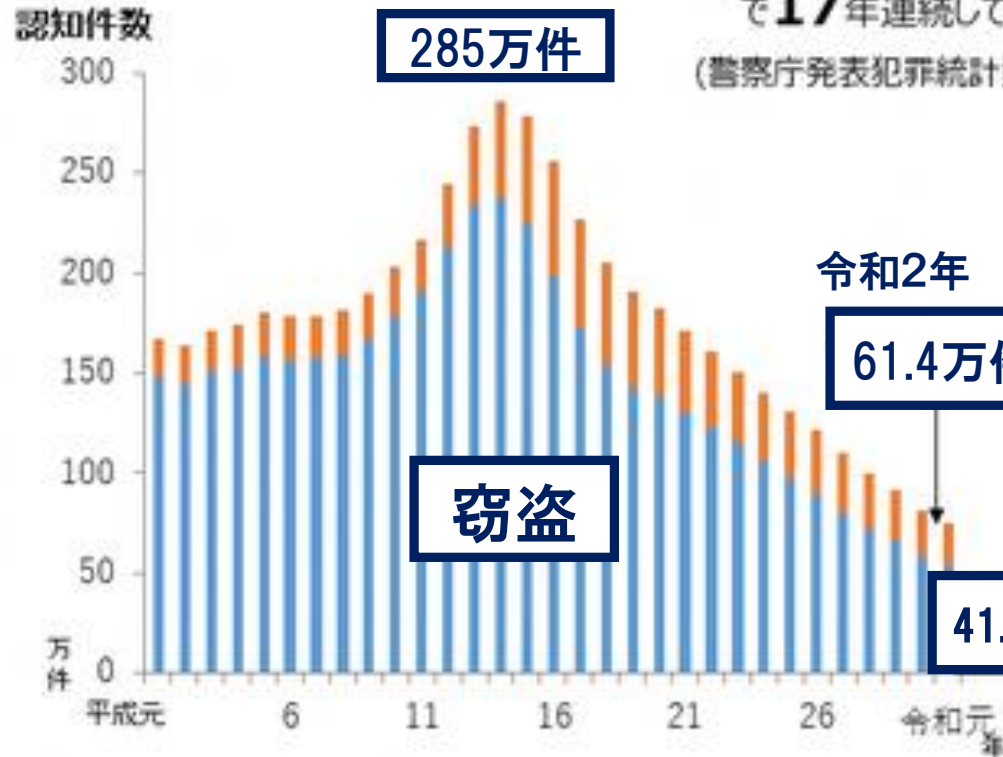
令和元年の刑法犯認知件数は

74万9千件

平成14年

285万件

で17年連続して減少
(警察庁発表犯罪統計資料)

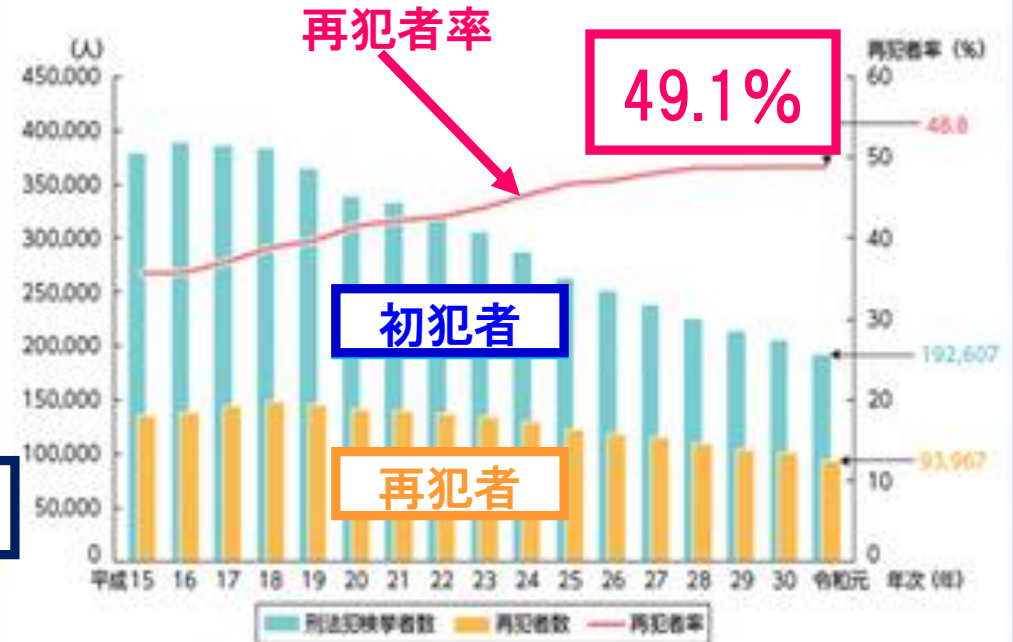


刑法犯検挙人員に占める再犯者率

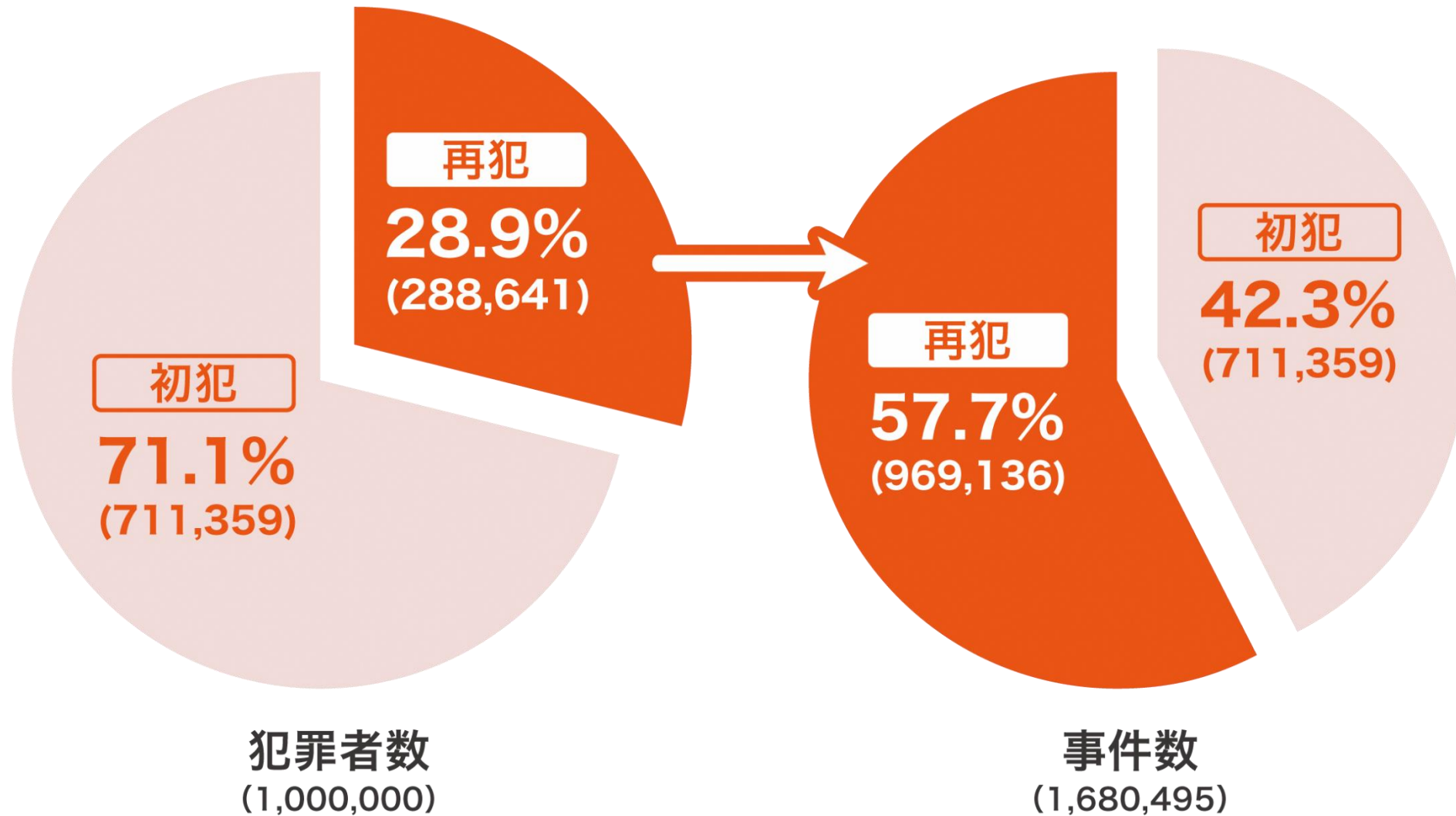
刑法犯検挙人員の

約半数が再犯者

令和3年版犯罪白書



約3割の再犯者により、約6割の犯罪が行われている



今、出所を控え、どのような気持ちですか

家族や交際相手に受入れてもらえるか不安だ。



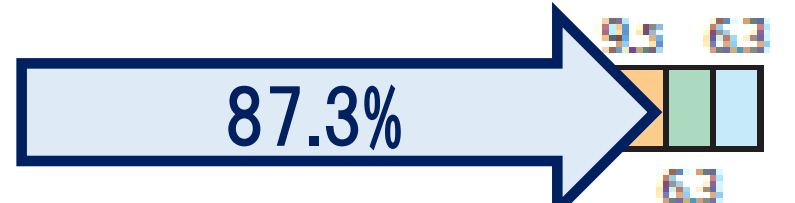
職場や地域に受け入れてもらえるか不安だ。



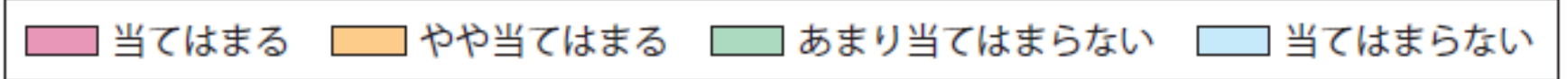
出所後に仕事を見つけて生活ができるか不安だ。



出所後はきちんと仕事をして規則正しい生活を送りたい。



もう二度と犯罪はしない。



犯罪や非行をした人の中には、 様々な「生きづらさ」を抱えている人がいます

仕事がない

約7割が犯罪時無職



新受刑者の犯罪時就労状況

住居がない

約2割が犯罪時住居不定



新受刑者の犯罪時居住状況

高卒未満である

約6割が高卒未満



新受刑者の教育程度

高齢である

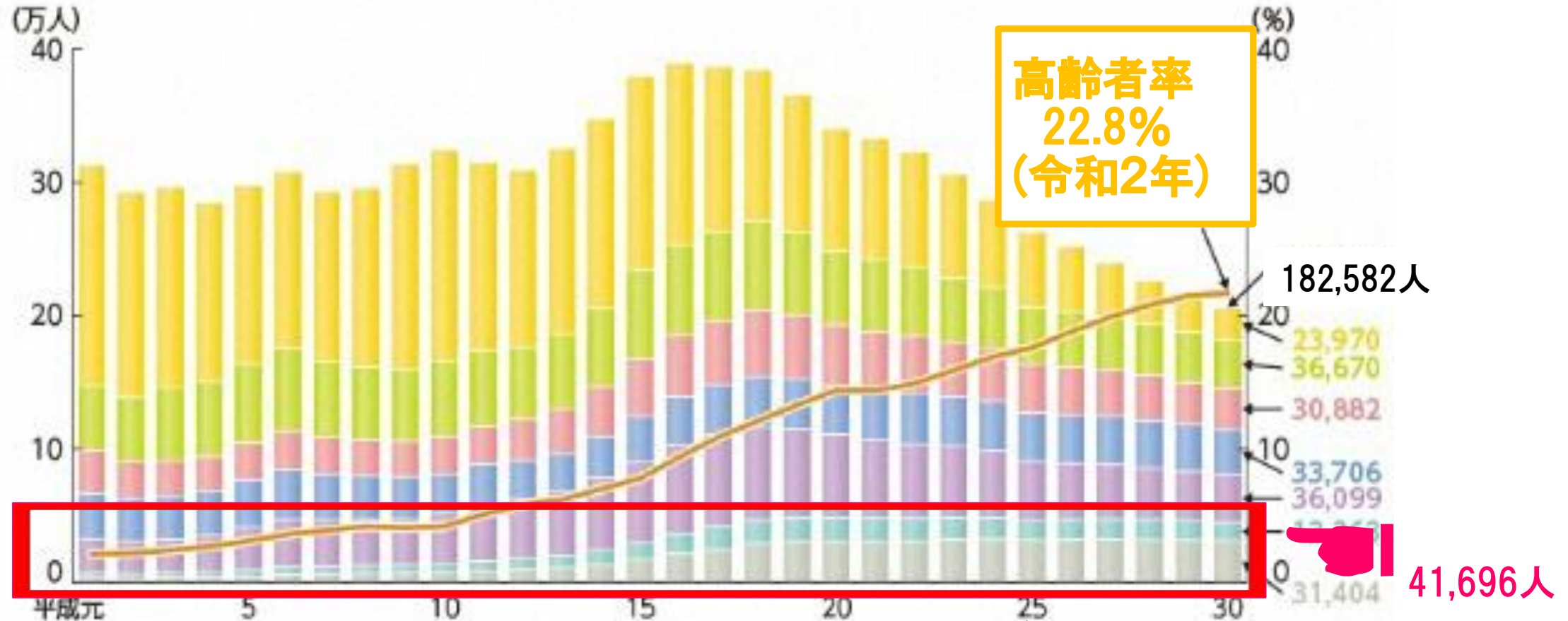
高齢者の割合が増加
(65歳以上)



H21 H31
刑法犯検挙人員における高齢者率

刑法犯 検挙人員（年齢層別）・高齢者率（総数）の推移

① 総数

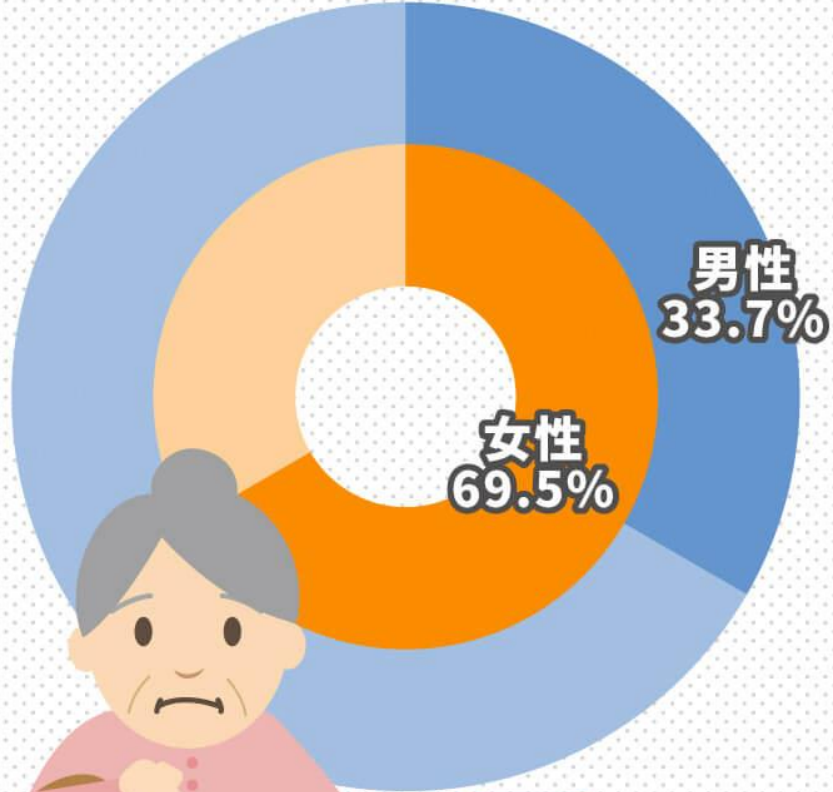


70歳以上の者は、高齢者の検挙人員の74.8%を占めている

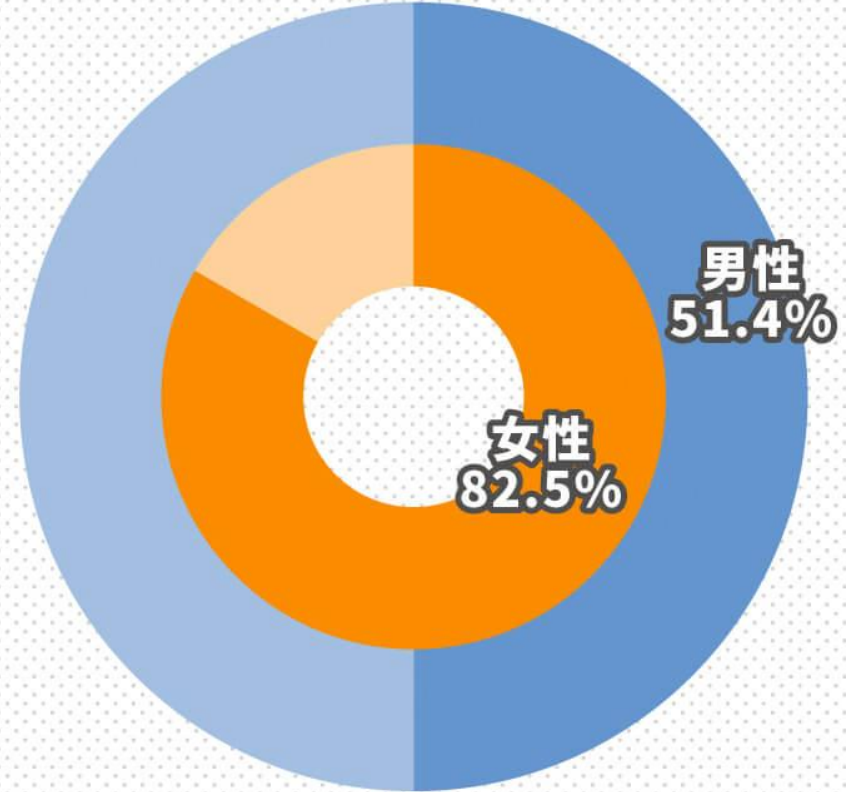
20歳未満 20～29歳 30～39歳 40～49歳 50～64歳 65～69歳 70歳以上

高齢者の犯罪における万引きの割合

65~69歳



70歳以上



法務省:平成30年版 犯罪白書

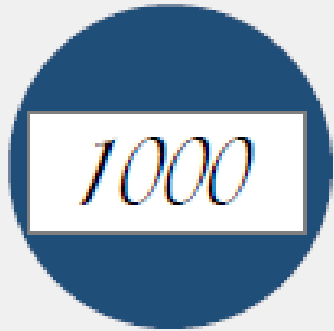
高齢万引き事犯者の特徴



食料品が
約**7**割



女性の動機は
節約が約**8**割、
男性でも約**5**割



窃取物品金額は
千円未満が
4割

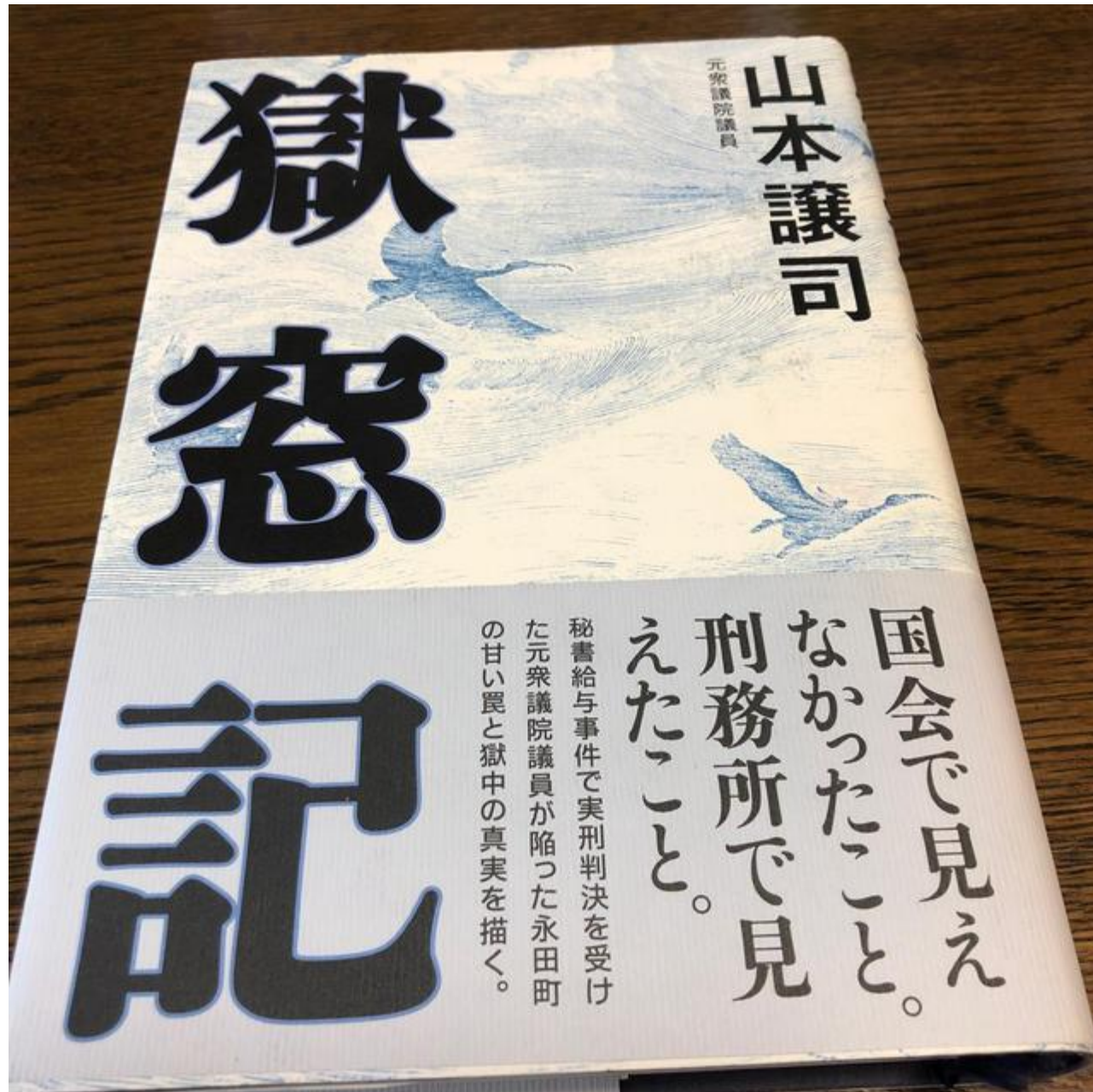


罰金以上の
前科有
男性約**8**割
女性約**6**割



被害店舗は、非高
齢群より**平素か**
ら客として来店・
万引きでの検挙
歴がある店の割
合が高い





著者 山本讓司氏

東京都議会議員（2期）

民主党の衆議院議員（2期）

平成13年、「公設秘書給与流用の詐欺罪」に問われ、懲役1年6ヶ月の実刑を受け、栃木県黒羽刑務所に服役する

受刑中は、障害のある受刑者たちの世話係を務める。出所後は、介護士の国家資格取得、・知的障害者入所更生施設支援スタッフ・受刑者の出所後のシェルター創設に貢献・執筆活動や演活動(福祉団体、人権団体等)
433日に及んだ獄中での生活を『獄窓記』として著す。



平成18年1月8日(日)
JR下関駅放火事件



74歳放火下関駅炎上

「空腹、むしゃくしゃ」

復旧には数日

74歳の男性が山口県のJR下関駅に放火をしたという事件ですが、この方は刑務所から出てすぐに、北九州市に生活保護の申請をしようとしたら、住所が定まっていなかったため生活保護を受けることができず、絶望し、刑務所に戻るために下関駅に放火した。

七日午前二時すぎ、山口県下関市竹崎町四丁目目のJR下関駅構内から出火、木造の駅舎や隣接する乗務員センターなど延べ約三千平方メートルを焼いた。下関署は同日、放火の疑いで現場付近にいた住所不定、無職福田九右衛門容疑者を逮捕した。
(23面に関連記事)

福田容疑者は放火未遂の逮捕歴があり、「腹が減り、むしゃくしゃしていた。ライターで紙を燃やして、駅舎そばの倉庫付近に火を付けた」と容疑を認めている。山陽、山陰両線は下関駅への乗り入れができない状態で、JR西日本は復旧には数日かかるとの見通しを明らかにした。出火当時、宿直で駅や



炎上するJR下関駅 7日午前3時すぎ、山口県下関市

乗務員センターにいたJR社員三十五人と清掃作業員三人は全員避難し、けがはなかった。約三時間後に鎮火したが、三角屋根の外観が独特だった一九四二年建築の駅舎は焼け落ちた。下関署によると、福田容疑者は六日夜に北九州市から列車で下関駅に来た。深夜になって駅構内のベンチにいるところを署員が職務質問し「駅舎が閉まるので外に出るよ」と促した。七日午前五時ごろ、駅近くの駐車場にいたため再び職務質問すると放火を認めた。

福田容疑者は二〇〇一年にも福岡県警に放火未遂容疑で逮捕されていた。当時は刑務所を出たばかりで「刑務所に戻った方が良い」と思って火を付けたと供述していた。JR西日本によると、線路や架線などに被害はなかったが、通信ケーブルや鉄道電話線が燃えた。列車は山陽、山陰両線とも下関の手前の駅で折り返し運行し、代行バスを走らせた。東京、京都と九州を結ぶ寝台特急も運休となった。山陽新幹線は同駅を通過せず、平常通り運行された。

本州最西端の下関駅は九州への連絡ターミナルとして一日約二万四千人が乗り降りする。一九四二年の関門鉄道トンネル開通に合わせて、今回焼失した駅舎が建てられた。

松下電器
尼崎

松下電器産業は七日、世界最大の生産能力を持つプラズマ・ディスプレイ・パネル(PDP)の

罪名

窃盗(万引き) 4割強

詐欺(無銭飲食や無銭乗等)
1割弱

動機

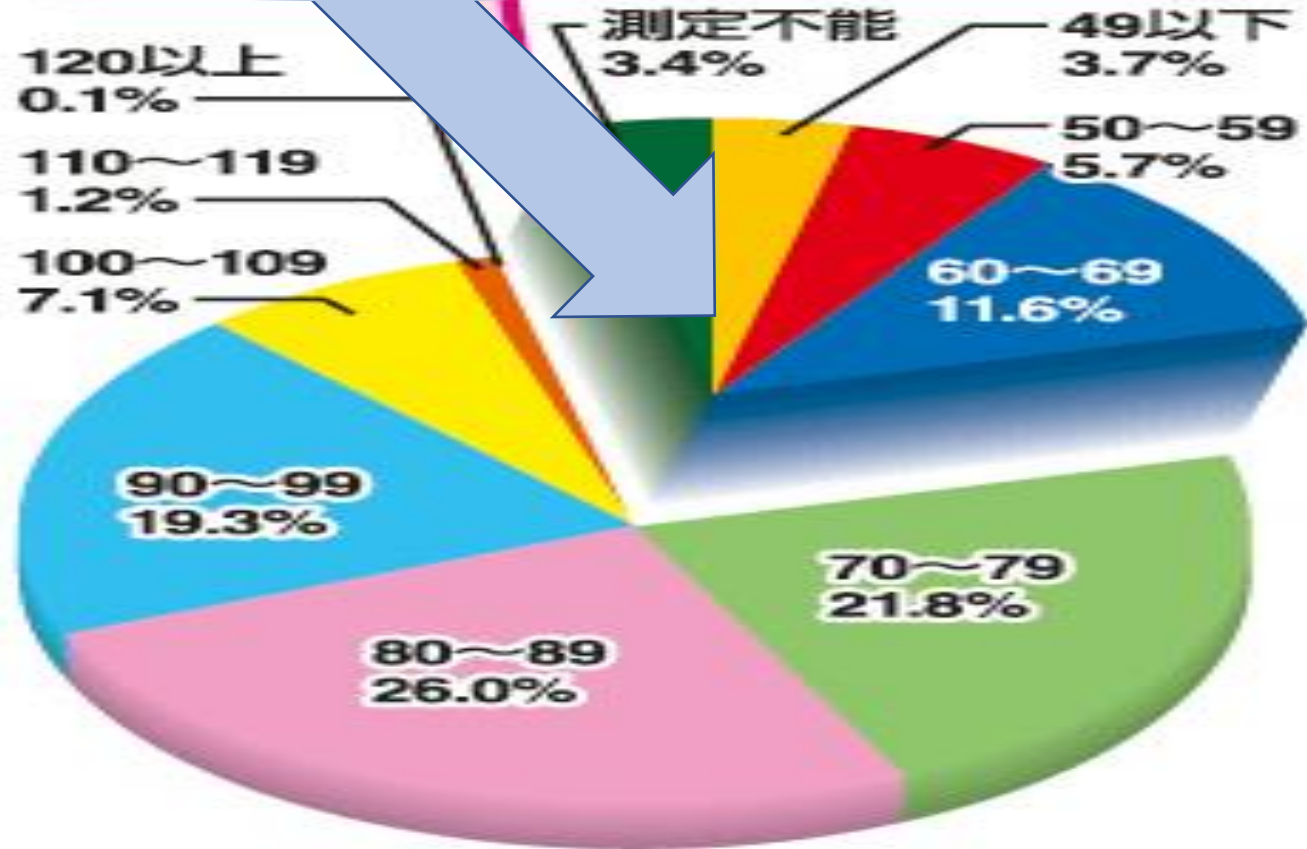
困窮・生活苦 4割弱

仕事

無職(事件当時) 8割

受刑者の知能指数(2012年)

「測定不能」を含めると
新受刑者の約4分の1
を知的障がい者が占める



資料：法務省「平成24年 矯正統計年報」

認知症傾向にある受刑者の比率及び推定人数（年齢層別）

	年齢層				
	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80歳以上
認知症傾向のある受刑者の比率 (本調査結果)	6.5%	10.2%	21.6%	25.6%	28.6%
60歳以上の受刑者数 9,710人 (平成27年6月1日現在 矯正局調べ)	3,430	3,219	1,776	887	398
認知症傾向のある受刑者の推定人数	221	328	383	227	114

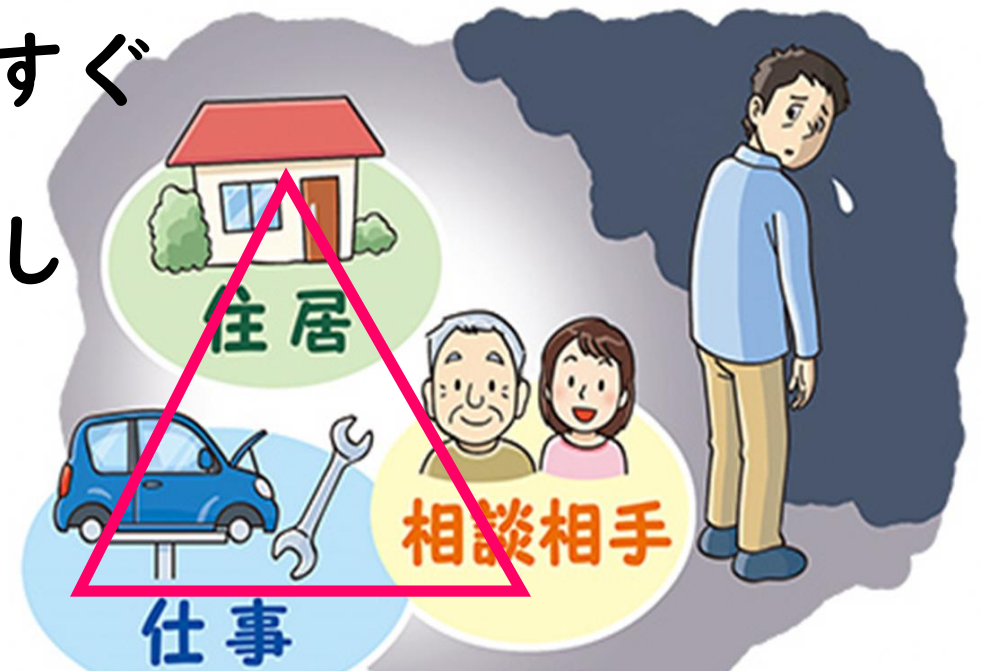
13%

資料：平成27年法務省矯正局調査結果より抜粋

犯罪や非行の背景にさまざまな生きづらさがあります

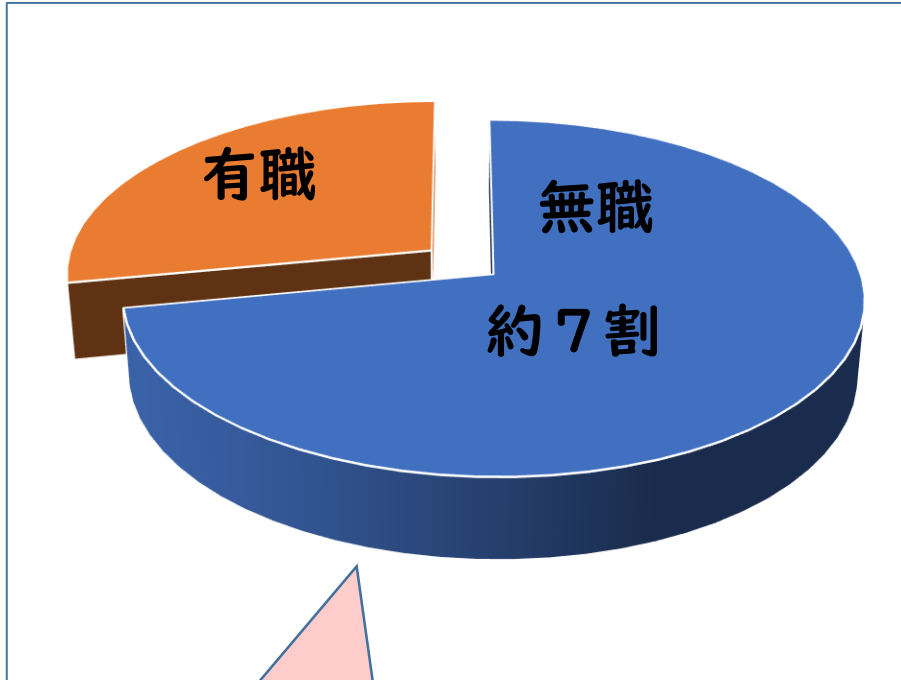


彼らが立ち直り、社会で自立するためには、
強い意志と努力が必要であることは
もちろんですが、出所して、すぐ
に必要となってくるのが、生活し
ていくお金と住む場所、そして
相談できる人です。



更生を支えるトライアングル

更生を支えるトライアングル（仕事）



刑務所再入者のうち
再犯時、無職の人の場合

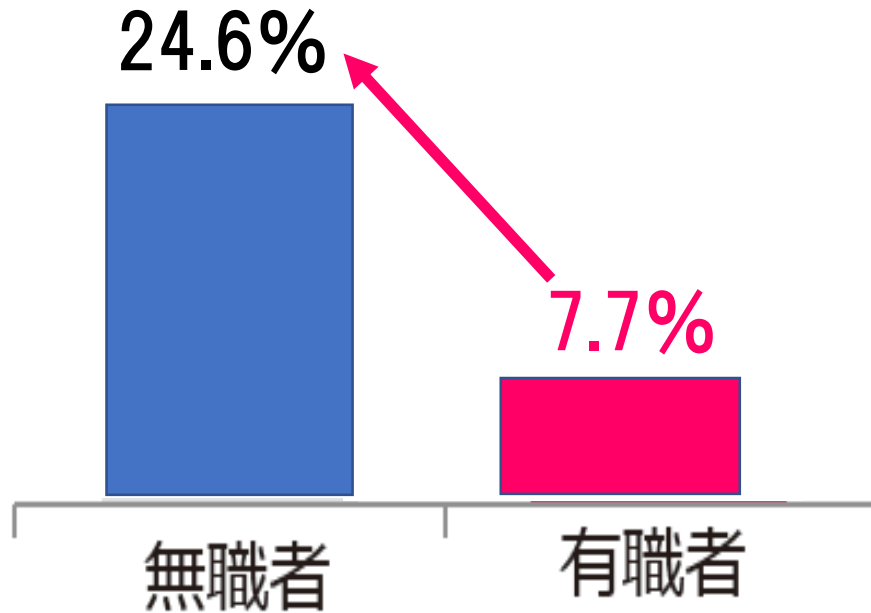
現実



仕事がないれば日々の生活の糧を得ることができません…

「平成30年保護統計年報」

仕事がない者の再犯率は
仕事がある者の約3倍



保護観察終了時の職の有無と再犯率

(平成26年から平成30年法務省調査累計)

就労の確保は、犯罪や非行から立ち直る上での重要なカギ

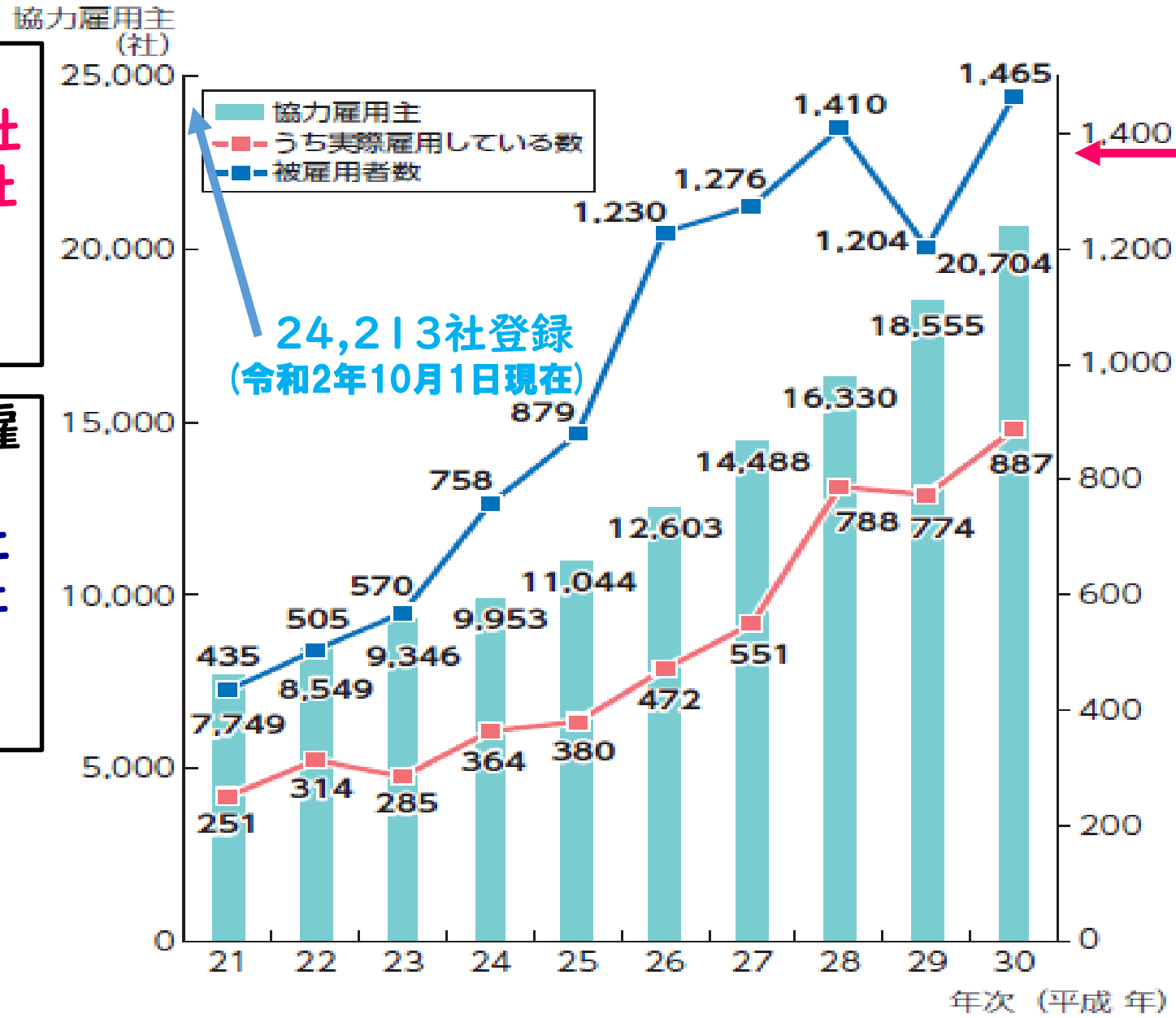


協力雇用主

協力雇用主の登録数と雇用数の推移

鳥取県の協力雇用主登録数 111社
実雇用主数 9社
 (令和4年10月現在)
 鳥取保護観察所

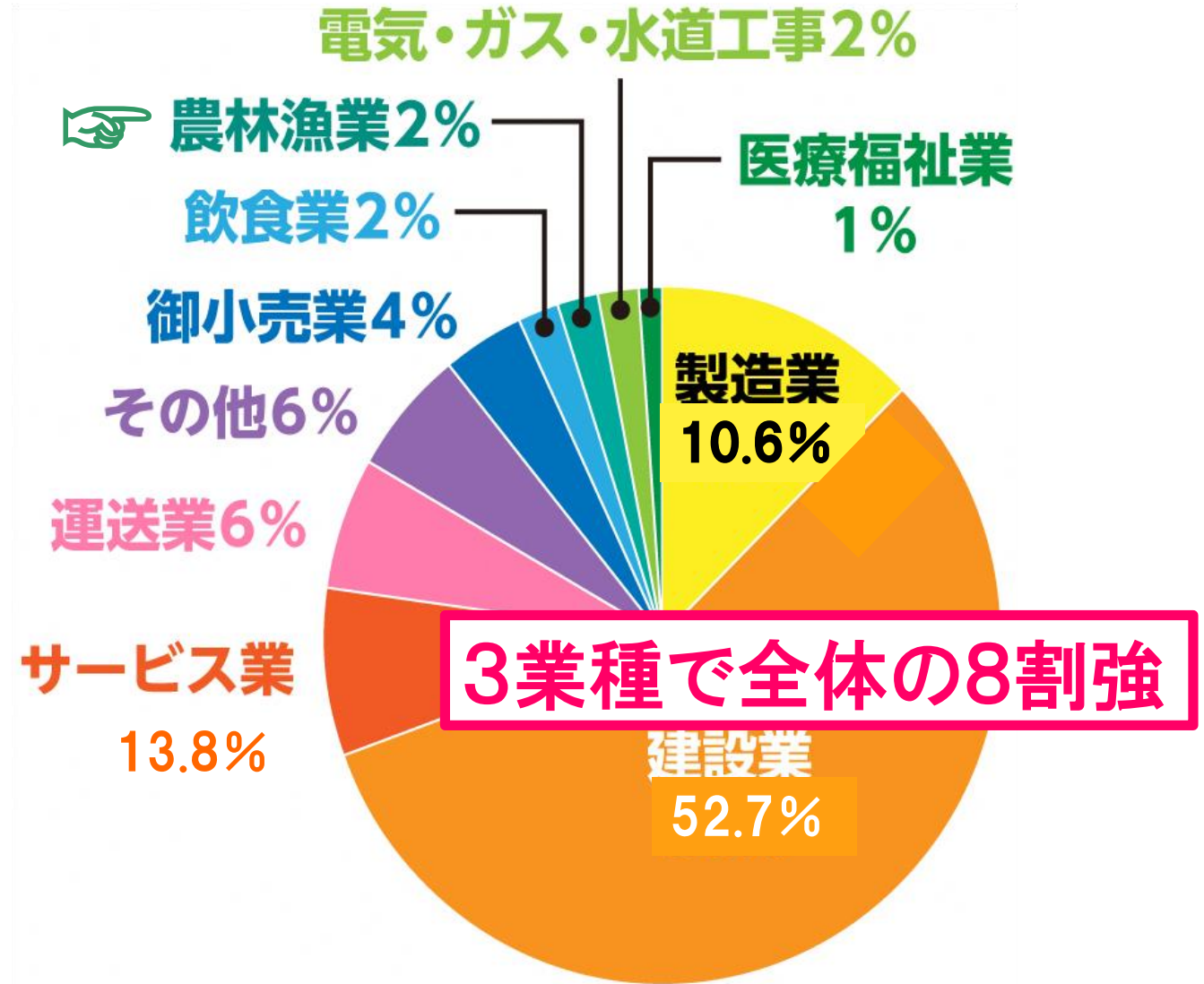
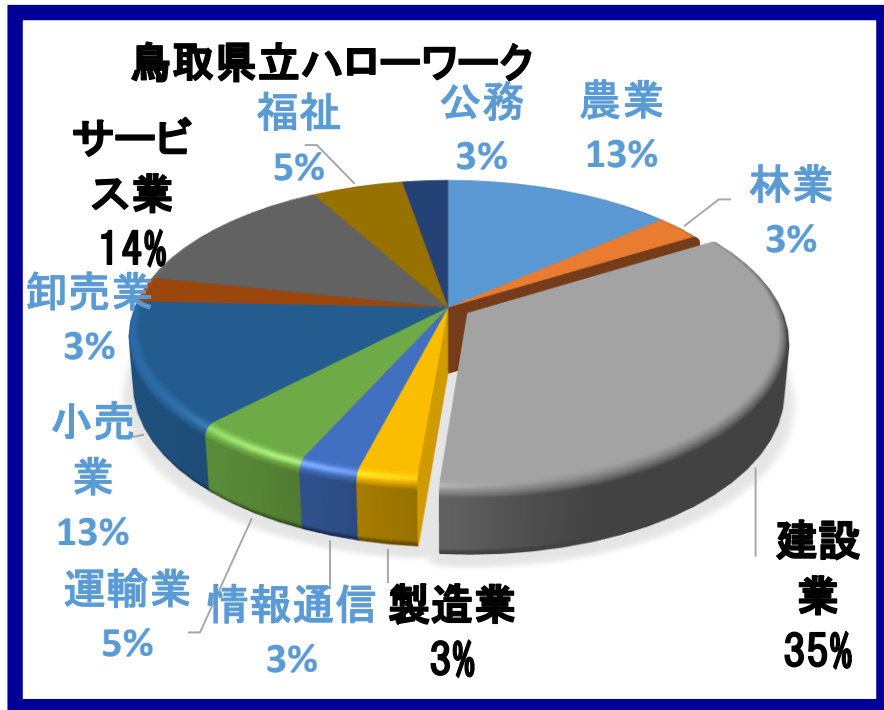
**県HWが開拓した雇用
 に協力的な事業主数** 37社
実雇用主数 2社
 (令和4年10月現在)



協力雇用主の業種別割合

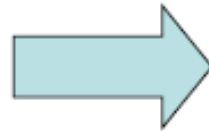
協力雇用主(鳥取県)の主な業種

1位 **建設業** 約半数
 2位・3位 **サービス業** **製造業**



更生を支えるトライアングル（住居）

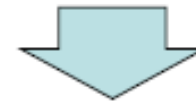
帰る場所がない…



★家がない＝住民票がない

→「真っ当な仕事につけない」

→「国民健康保険等の行政サービス
が受けられない」

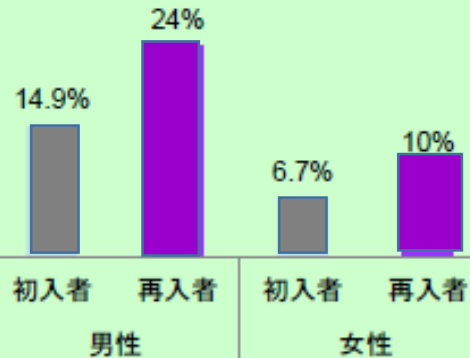


再び社会からドロップアウト
(ホームレスや、暴力団等の
反社会組織等)

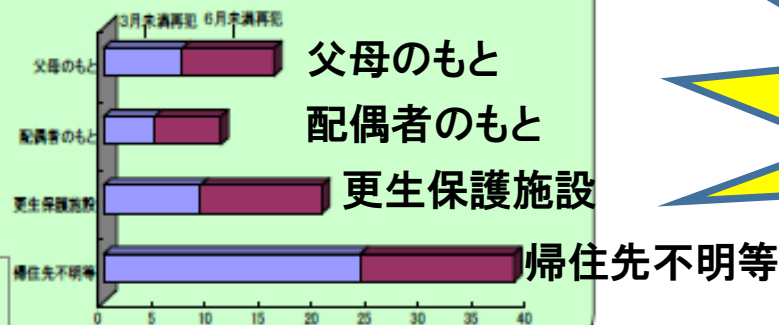
3月未満再犯

6月未満再犯

帰住先のない者ほど
刑務所入所を繰り返す
犯行時住居不定者の割合(H27)



帰住先のない者ほど
再犯期間が短い



再犯につながりやすい

資料：厚生労働省

行き場のない出所者の住居を確保するために ～住む場所のない人を支える施設～

- 更生保護施設 **全国更生保護施設収容定員総計 2,402人**

犯罪をした人のうち、住むところのない人が、一時的に生活して、自立のために仕事を探したり、生活指導を受けたりする民間の施設。 **全国に103施設**



更生保護施設の外観



地域との交流や清掃活動



NPO法人等登録事業者数 432
毎年平均 1600～1700人

このほか、国が設置している自立更生促進センター・就業支援センター（全国に4施設）や平成23年～ NPO法人等が管理する宿泊場所（自立準備ホーム）がある。

更生を支えるトライアングル（相談相手）

最も深刻な問題は

孤独

親族等が頼れない等の理由により帰る場所がなく、更生保護施設で生活する人が、自立後に求める支援

⇒1位は、「相談先の確保」



項目	該当人数
相談先の確保	169
安定した就労	134
技能・資格の取得	134
信用できる友人の確保	122
制度やサービスの手続き	119
家族調整	103

東京社会福祉会資料

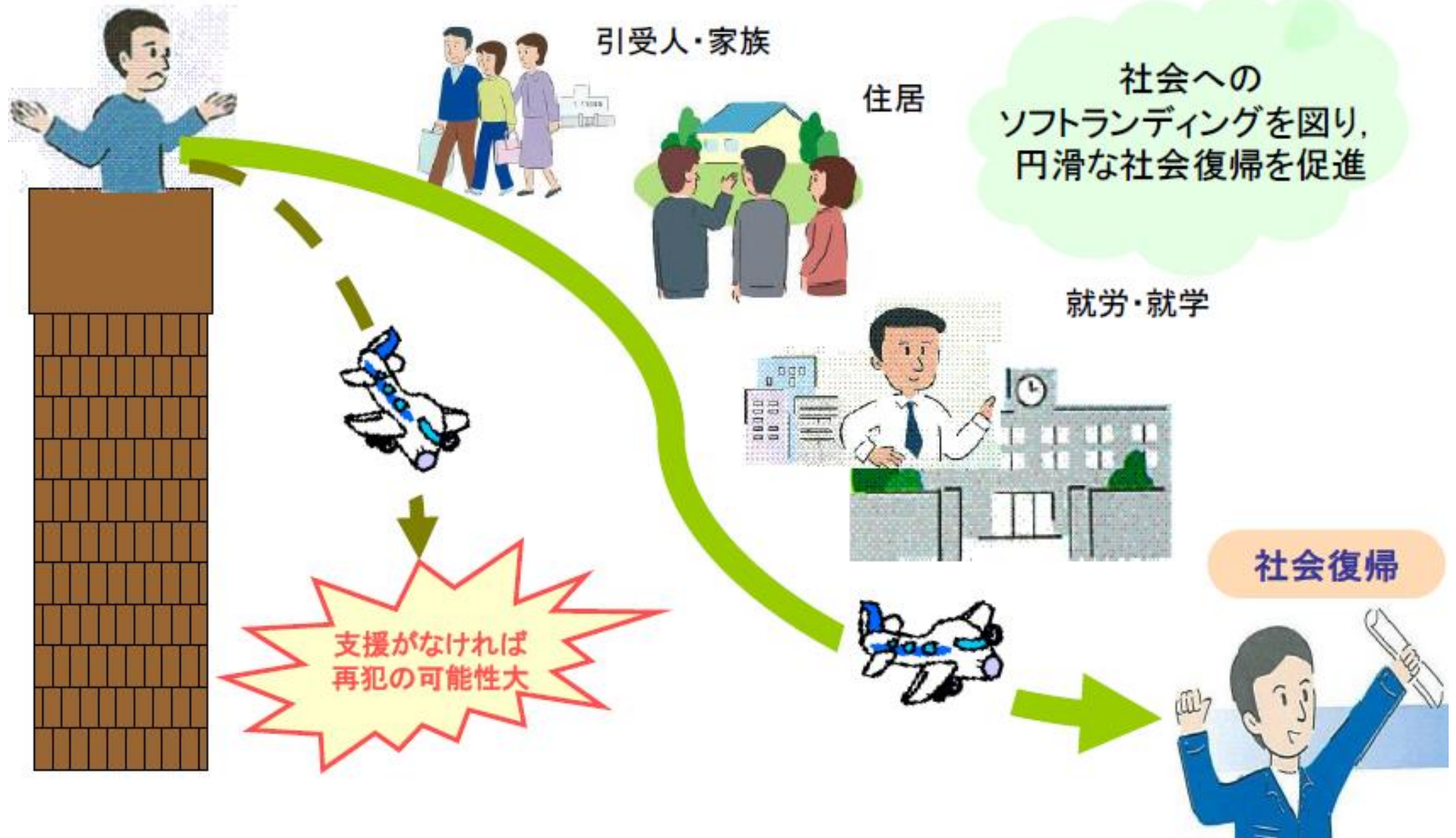
社会復帰に必要な支援 (H24犯罪白書)

「困ったときに適切な支援を教えてくれること」
(受刑者の72%・少年院在院者の62%)

「生活上の悩みを気軽に相談等できる相手」
(受刑者の63%・少年院在院者の76%)



社会復帰のソフトランディングを図ること 更生保護



入居者に
突然事故が起きたら
どうしよう…

空室情報を提供
したいときは？

保証人が
見つからない…

車椅子で入居できる？
相談できる
不動産店は…

家賃が
支払われなく
なるのが不安

高齢を理由に
入居を断られる
のでは…

鳥取県 あんしん賃貸 支援事業

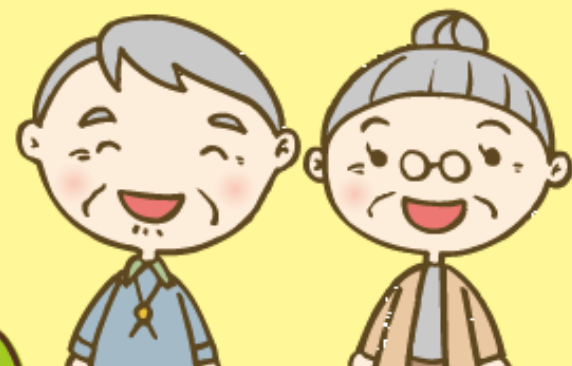
貸したい方

借りたい方

賃貸住宅のさまざまな不安を解消して

「貸したい」と「借りたい」を

つなぎます



鳥取県家賃債務保証事業

保証人が確保できず賃貸住宅の入居契約ができない方を支援するために鳥取県独自で「鳥取県家賃債務保証事業」を創設しました。本事業は、鳥取県居住支援協議会が鳥取県社会福祉協議会に委託して実施します。

本事業の利用希望者は、あんしん賃貸相談員に賃貸住宅への入居相談とあわせて本事業の利用についても相談し、その後、鳥取県社会福祉協議会へ家賃債務保証事業を申し込みます。

背景

民間の家賃債務保証会社の審査に通らないために賃貸契約が締結できない。

事業目的

家賃を支払えるにも関わらず、保証人がおらず過去に債務不履行がある等の理由で既存の債務保証制度が利用できない方を対象に**鳥取県独自の家賃債務保証制度を創設**し、賃貸住宅への入居を支援する。



“立ち直り”の視点から見た「農」の福祉力

- ① “ここに居てもいいんだ！” という安心感
- ② “人の役に立っているんだ！” という自己有用感
- ③ 生き直す強さ
- ④ 思いやりや社会性
- ⑤ 高い情操教育効果や心情の安定
- ⑥ 達成感、自信や自立の精神
- ⑦ 健全なエネルギーの発散

受刑者からの主な質問

出所後資格を取ろうと思うが、業種によっては欠格期間が違っていると聞いているが？

職場での人間関係は不安だ。うまくやっていたらいけるだろうか？

全国や鳥取県の有効求人倍率はどのくらいなっているのか？

コロナ禍において元受刑者がどのような仕事に就けるのか？

刑務所でやっている職業訓練は採用にどう影響するのか？

出所後、行く場所も金もない。どうすればいいのか？

前科を隠して就職したいけれど、バレるとクビになるのですか？



刑務所出所者等を雇用するにあたって

- ① 刑務所出所者等の雇用は、立直りを支える更生保護支援です。
- ② 障害者と刑務所出所者等については社会の認識が大きく違う。
- ③ 単なる人手不足の充当ではない。
- ④ 再犯や裏切られることもある。
- ⑤ 覚悟がいる。
- ⑥ 出所者等の対応は試行錯誤の連続であり、一人一人の支援は違う。
- ⑦ リスクばかり考えていると、刑務所出所者等の雇用は進まない。
- ⑧ 成功した事例を積み重ねていくしかない。
- ⑨ 安全・安心な社会、誰一人取り残さない社会に貢献するなどやりがい大きい。

なぜ立ち直りが難しいのでしょうか？

彼らが反省していないから犯罪を繰り返すということは、そう多くはなく、むしろ彼ら自身の置かれた境遇や彼らの持って生まれた特性など、様々な要因から、犯罪というのは起きていると強く思うようになった。

もちろん立ち直ろうと思っても、仕事がない、住む家がない、相談する人がないために、再犯は増えているのも事実です。

罪を犯すこと自体はすごく悪いことであり、その罪に応じた罰を受けなければならないのですが、

一度罪を犯した人を二度と立ち上がれないようにするのは、明らかに違うということを感じるようになりました。

ある弁護士の手記より